

オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会 議事録

開催日時	平成30年7月27日(金) 9時30分～16時00分
開催場所	東京都庁第二本庁舎25階 112会議室
出席者	<p>(委員長) 小室 明子</p> <p>(委員) 守泉 誠</p> <p>小海 隆樹</p> <p>丸山 正</p> <p>(指定管理者) 以下9施設の担当者</p> <p>東京都障害者総合スポーツセンター</p> <p>東京都多摩障害者スポーツセンター</p> <p>東京体育館</p> <p>東京武道館</p> <p>東京辰巳国際水泳場</p> <p>駒沢オリンピック公園総合運動場</p> <p>有明テニスの森公園テニス施設</p> <p>若洲海浜公園ヨット訓練所</p> <p>武蔵野の森総合スポーツプラザ</p>

- 目次 -

指定管理者評価制度の説明	1
--------------------	---

所管局一次評価説明

【東京体育館】	6
【駒沢オリンピック公園総合運動場】	6
【東京武道館】	6
【東京辰巳国際水泳場】	7
【有明テニスの森公園テニス施設】	7
【若洲海浜公園ヨット訓練所】	7
【武蔵野の森総合スポーツプラザ】	8
【東京都障害者総合スポーツセンター】	8
【東京都多摩障害者スポーツセンター】	9
【所管局一次評価に対する質疑応答】	10

指定管理者によるプレゼンテーション及び質疑・二次評価の審議

【東京都障害者総合スポーツセンター】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	14
二次評価審議	19
【東京都多摩障害者スポーツセンター】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	21
二次評価審議	27
【東京体育館】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	28
二次評価審議	33
【東京武道館】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	34
二次評価審議	39
【東京辰巳国際水泳場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	40
二次評価審議	46

【駒沢オリンピック公園総合運動場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	47
二次評価審議	54
【有明テニスの森公園テニス施設】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	55
二次評価審議	60
【若洲海浜公園ヨット訓練所】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	61
二次評価審議	66
【武蔵野の森総合スポーツプラザ】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	67
二次評価審議	73
全体整理	75

指定管理者評価制度の説明 【所管局】 9:24～

発言者	内容
織田課長	<p>それではただいまからオリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会を開催させていただきます。本日は委員の皆様方におかれましては、お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は本委員会の事務局を務めさせていただきます、オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部施設管理担当課長の織田でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず委員の皆様のご紹介をさせていただきます。お席の順にお名前をお呼びいたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>まずこちらから、オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部長の小室委員でございます。</p>
小室委員長	小室でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
織田課長	公認会計士の守泉委員でございます。
守泉委員	守泉でございます。よろしくお願いいたします。
織田課長	続きまして日本女子体育大学教授の小海委員でございます。
小海委員	小海です。よろしくお願いいたします。
織田課長	公益財団法人日本レクリエーション協会専務理事の丸山委員でございます。
丸山委員	丸山でございます。よろしくお願いいたします。
織田課長	<p>ありがとうございます。皆様よろしくお願いいたします。</p> <p>本委員会につきましては、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会設置要綱にもとづいて組織されております。第4および第6におきまして、委員長および議長については、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部長の職にある者を充てることとしております。小室委員が委員長として委員会の運営進行をお願いしたいと思います。</p>

発言者	内容
小室委員長	<p>はい、本委員会の委員長および議長を務めさせていただきます。本日は委員の皆様、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。日頃から東京都のスポーツ行政に関しましてご理解ご協力賜りまして感謝申し上げます。</p> <p>指定管理者制度は、ご案内かとは思いますが、平成15年の地方自治法改正に伴いまして、東京都では平成18年の4月から導入しております。13年目ということで、定着しているところでございます。</p> <p>都としましては、公の施設の設置者として管理運営に責任を有するというところで、更なるサービスの質の向上、それから安全管理面の徹底等、指定管理者の運営状況について、第三者の視点を含めた評価を毎年行うこととしておりまして、このような委員会を設けさせて頂いております。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それではこれより議事に入ります。次第に従いまして、指定管理者管理運営状況評価の流れにつきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
小野塚 課長代理	<p>はい、それでは会議に先立ちまして、事務局のほうから資料のご確認をさせていただきたいと思っております。お手元のお配りしております資料の一番上に今回の評価委員会の次第がございます。1枚おめくりいただきますと、配布資料ということで、7点資料について列挙しています。以降に、資料の1番、委員会の名簿。続きまして資料の2番は、評価の対象となります指定管理者の一覧です。そして資料の3はA3版になります、指定管理者管理運営状況評価の流れという資料でございます。</p> <p>続きまして資料4ということで、主管局における各施設毎の一次評価の資料となっております。</p> <p>続きまして資料5ということで、本日プレゼンをして頂きます指定管理者の管理運営状況の資料となっております。そして次に資料6で、2次評価の案となっております、先生方のコメントを基に作成しております。</p> <p>最後に資料7ということで、指定管理者評価委員会設置要綱となっております。</p>

発言者	内容
小野塚 課長代理	<p>配布資料は以上です。</p> <p>資料の過不足等についてはよろしいでしょうか。</p>
織田課長	<p>それでは本日、オリンピック・パラリンピック事務局所管の体育施設7施設および障害者スポーツセンター2施設、合計9施設につきまして、所管局による一次評価を踏まえまして、今回評価委員会による二次評価を確定していただくというような形になります。評価の審議に先立ちましては、指定管理者によるプレゼンテーション及び質疑を行わせていただきます。</p> <p>それでは指定管理者評価の流れについて説明させていただきます。</p> <p>資料の3番、A3版の資料をご覧ください。</p> <p>評価の流れでございますが、まず確認項目につきましては、大きく「管理状況」と「事業効果」ということで分けております。「管理状況」につきましては、施設管理、個人情報保護、施設の安全性の確保、そして適切な経理処理・財産管理となっています。そして下の2番目の事業効果につきましては、利用者促進の取組の効果、そして事業内容や職員対応について利用者の方々の声等について確認をするものでございます。そして左側の2列目のところでございますが、管理運営状況の確認の方法でございます。指定管理者からは毎月、月報という形で履行状況については都のほうに報告をいただいております。そして年1回程度、実地調査のヒアリングというような形をしておりますが、これ以外に年度終了後の事業報告書、そして財務諸表、また適宜利用者のアンケート等など提出いただいて、その取組状況を確認しているところでございます。</p> <p>資料の真ん中、一次評価でございますけれども、本評価については所管局としまして管理運営状況の確認の結果等を踏まえて、年間を通じた管理運営状況について一次評価を出すことになっております。</p>

発言者	内容
織田課長	<p>各確認項目につきまして、それぞれ指定管理者が果たすべき業務に照らして、3段階の評価を行っております。こちらは例年通りです。</p> <p>これらも評価の得点の合計点にもとづきまして、全確認項目において、4段階に分けて評価をしてございます。今回S、A+、A、Bでございますけれども、こちらは昨年度から4段階評価になっております。これは指定管理者評価全体が変更になっていることによるものです。</p> <p>また一次評価につきましては、財務状況の確認ということで、公認会計士である評価委員の守泉先生のご協力もいただきまして、財務状況についても確認をしております。またそれぞれ指定管理者の指定の際の特命要件がございます場合については、継続状況についても確認をしているところでございます。</p> <p>資料の1番右側二次評価でございます。今回評価委員会による専門的評価ということでございますけれども、評価委員会は指定管理者の管理運営状況を客観的総合的に評価するために設置させていただいておりまして、二次評価を行っていただくという風でございます。外部委員の方が過半数ということで構成をさせていただいております。評価の内容については、一次評価の内容についての検証、そしてそれぞれの項目について専門的な評価をいただくということでございます。</p> <p>指定管理者のサービス水準の向上や効率的な運営の推進等に関しても助言をいただくことも可能となっております。</p> <p>二次評価の評価基準については、こちら記載の通り4段階の評価でございます。</p> <p>指定管理者の運営状況評価の流れについては以上でございます。</p>
小室委員長	指定管理者の評価の流れについて、ご質問はございますか？
守泉委員	モニタリング評価の結果が良ければ、次の指定管理の際に上乘せしてもらう規定などはありますか？
織田課長	そのような運用は現状しておりません。
守泉委員	東京都の制度では、そのようなことができる規定があったと思いますが、その辺は議論されていないのでしょうか？
織田課長	この制度ができた時は、各施設の所管局がバラバラでありましたため、一番平準的な基準で引き継いできた経緯があります。また、各施設とも稼働率が高いため、年度で大きな変化は見られず、高止まりの中で、より高いサービスの質を維持しながら、新たな取組みができるかという視点で行ってきただけのため、積み上げで評価を変えていくという考え方は取り入れていません。

発言者	内容
守泉委員	モニタリング評価で良かったところについては、次の指定管理者を選定する上で、プラス要素として考慮するという考え方はないのでしょうか？
織田課長	現状の運用の中ではそのような考え方は取り入れていません。
守泉委員	そのような考え方の導入の可否について改めて検討したほうが良いと思います。
小室委員長	守泉先生から、そのようなご指摘を頂いたということで、過去の評価の実績を活かせる可能性について検討したいと思います。
織田課長	総務局で、施設サービス魅力向上プロジェクトという取組みを行っております。その中でも検討していきたいと思います。また、多くの施設が平成34年度までが指定管理者の期間となっておりますので、平成35年度以降の指定管理者の選定にあたって、頂いたご意見を基に検討したいと思います。
小室委員長	<p>それでは、各施設の一次評価の結果報告に移らせて頂きます。</p> <p>午前中は、一次評価の結果報告の後、休憩をはさんで、2施設のプレゼンテーションと質疑応答、および二次評価の審議を行います。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>

所管局一次評価【東京体育館】

発言者	内容
織田課長	<p>資料4をご覧ください。</p> <p>東京体育館については、「施設・設備の保守点検」「プール施設の管理」について評価が高くなっています。いわゆる仕様を上回るような点検を実施している点などを評価しています。主催団体の要望に柔軟な対応を行っていることや施設の有効活用のための調整を行っていることなどがあります。特にアリーナの稼働率は99.8%と高い施設となっています。また、サービス向上の取組みとして駐車場の無料時間を2時間から4時間に拡大しており、この点も評価しています。</p> <p>なお、評価項目の追加があります。東京体育館は大規模改修を実施しておりますが、この点は、事業の取組（9）その他の項目で評価しています。</p>

所管局一次評価【駒沢オリンピック公園総合運動場】

発言者	内容
織田課長	<p>続いて駒沢オリンピック公園総合運動場についてです。</p> <p>評価の高い点は3点あります。他の大規模施設の休館に伴い、その受け皿のとして利用調整に取り組んでいる点です。またトレーニング機器を更新していること、授乳室を新設している点があります。そして、公園事務所との連携し、改修工事についての情報共有の取組みを評価しています。</p>

所管局一次評価【東京武道館】

発言者	内容
織田課長	<p>続いて東京武道館についてです。</p> <p>評価の高いところは、日本武道館の休館予定に伴い、利用者の調整に関して取組みを行っていることです。また、SNS等の広報媒体を活用して、施設の利用促進を実施していることです。</p>

所管局一次評価【東京辰巳国際水泳場】

発言者	内容
織田課長	<p>続いて東京辰巳国際水泳場についてです。</p> <p>評価点としては、自主事業が非常に好調に展開している点です。この中で、セントラルスポーツのノウハウを共有していることがあります。また、昨年も高い評価を頂いておりますが、利用者の要望や意見について、回答の一覧表を公開し、誰でも見られるようにしていることがあります。</p> <p>また、東京体育館と同様に、大規模改修の事前準備ということがありますが、この点は、事業の取組（9）その他の項目で評価しています。</p>

所管局一次評価【有明テニスの森公園テニス施設】

発言者	内容
織田課長	<p>続いて有明テニスの森公園テニス施設についてです。</p> <p>評価点としては、仕様を上回る施設・設備の保守点検を実施していることがあります。そして、事業計画を上回る施設の利用料収入をあげていることがあります。また、オリンピック・パラリンピック対応として、施設の改修を行っており仮設のプレハブを建てておりますが、改修に伴う利用者への影響を鑑み、利用料金の割引を実施するなど、利用者の方が使いやすいサービスの提供を行っています。</p> <p>また、大規模改修の事前準備ということがありますが、この点は、事業の取組（9）その他の項目で評価しています。</p>

所管局一次評価【若洲海浜公園ヨット訓練所】

発言者	内容
織田課長	<p>続いて若洲海浜公園ヨット訓練所についてです。</p> <p>評価されている点としては、事業計画に基づく各種事業の実施という点です。また、障がい者乗船会を開催して、多くの参加者を受け入れるという点も評価しています。付帯施設である、ヨットの陸置きの施設や駐車場の利用促進についても取り組んでいます。</p>

所管局一次評価【武蔵野の森総合スポーツプラザ】

発言者	内容
織田課長	<p>続いて武蔵野の森総合スポーツプラザについてです。</p> <p>こちらは初めて評価対象となります。昨年の11月25日にオープンし、丸1年の営業期間があるわけではありませので、オープンからの期間を対象とした評価です。「管理状況」「事業効果」の評価は概ね「水準どおり」という評価になっています。また、折り込みチラシによる施設PRや、無料体験期間を設けるなど、新しい施設の認知度を上げる取組みが行われています。</p>

所管局一次評価【東京都障害者総合スポーツセンター】

発言者	内容
織田課長	<p>続いて東京都障害者総合スポーツセンターについてです。</p> <p>こちらは、職員を対象とした充実した研修を実施していること、また、近隣の施設と合同で防災訓練を実施するなど近隣との連携がしっかりできていること、また、改修工事の際に、近隣のプールを活用するなど、利用者の利便性を考慮していることも評価しています。</p> <p>従来、障害者スポーツセンターについては、体育施設でいうところのスポーツ振興事業は評価対象外としていましたが、スポーツ振興事業と同等と認められる事業については、今年度より評価の対象としています。</p> <p>また、大規模改修については、事業の取組（9）その他の項目で評価しています。</p> <p>なお、「プールの管理」や「施設の提供」については、仮設運営により外部を使用しているため、評価の対象外としています。</p>

所管局一次評価【東京都多摩障害者スポーツセンター】

発言者	内容
織田課長	<p>続いて東京都多摩障害者スポーツセンターについてです。</p> <p>こちらは、東京都障害者総合スポーツセンターと同じ指定管理者となりますので、職員を対象とした充実した研修体制について評価しています。また、SNSを活用した施設の利用促進について評価しています。</p> <p>また、今年度より、スポーツ振興事業の実施について評価している他、大規模改修については、事業の取組（9）その他の項目で評価しています。</p> <p>「施設の提供」については、昨年度非常に高い評価を頂いております。改修初年度の利用調整ということで評価を頂いておりましたが、今年度は利用調整業務が終了していることから「水準どおり」としています。</p>

所管局一次評価に関する質疑応答

発言者	内容
織田課長	一次評価の内容等についてご質問等はありませんでしょうか？
守泉委員	<p>個人情報保護に関して、◎の評価となるというのは、どのようなレベルを想定していますか？プライバシーマークを取得している、無停電電源装置を導入している、セキュリティーポリシーを制定しているなどが考えられますが、都としてどのレベルあれば◎評価となるかという基準は持っておいた方が良いと思います。</p>
織田課長	<p>プライバシーマークの取得やセキュリティーポリシーの制定についてどの程度までやっていれば、◎評価となるという基準は現状では定めておりませんでした。</p>
守泉委員	<p>情報処理通信機構から、政府等に対するセキュリティーポリシーの新しい基準があり、改定作業も行われていますが、現状、このレベルに達していないところもあります。例えば、政府等に対するセキュリティーポリシーの基準を満たしており、なおかつ内部監査も入れているということであれば、レベル的には抜群ではないかと思います。したがって、都として、指針を示すなどの取組みをやってあげても良いのではないかと思います。</p> <p>民間ではEUの厳しい個人情報保護の基準を満たさないと、海外進出できないという例もあります。また、最近クラウドが良く使われていますが、クラウドのサーバーが日本国内の場合もあれば、海外にサーバーがあるケースもあります。海外にサーバーがある場合、万一個人情報漏えいがあった場合は、海外の法令で処理せざるを得ないことになります。したがって、クラウドの管理や契約関係についても十分確認する必要があります。このようなことを想定して対応していれば十分であると考えますが、そろそろ、先を見越した対応をしておいた方が良いと思います。</p>
織田課長	<p>ご意見ありがとうございます。指定管理者との間で、パートナーシップ会議を開催しておりますが、ご指摘いただいた高いレベルでの取り組みが指定管理者側で可能なかどうか、可能な場合は、その点を評価するなどについても、意見交換をしたいと思います。</p>
小室委員長	あるべき姿については、引き続き勉強していきたいと思います。

発言者	内容
守泉委員	「プール施設の管理」についてですが、東京辰巳国際水泳場はセントラルスポーツと連携して、水質管理を良くやっていると思いますが、このあたりの評価基準はどのようになっていますか？東京辰巳国際水泳場は、水質管理の実施については、一つの売りにしていると思います。
小室委員長 小野塚 課長代理	東京辰巳国際水泳場については、昨年度、同じようなご指摘がありました。
織田課長	東京辰巳国際水泳場は50m長水路プールであり、競技大会利用向けの施設であるため、水質管理についても高いレベルを維持することが前提となっています。一方で東京体育館は、個人利用がメインとなっています。同列では評価しておりませんが、取組みとしては優秀であるため、東京辰巳国際水泳場についても、ご指摘を踏まえ、高い評価をいただくことはできると思います。
守泉委員	SNSの活用について、Twitterで情報発信をする際に、職員の誰もが勝手に発信するのではなく、だれがどのようにチェックして発信するのかということを決めて対応すれば、効果的であると思います。
小室委員長	プレゼンテーションの際に、Twitterの発信方法について確認したいと思います。
小海委員	事業の取組み「その他」の評価項目とは具体的にどのようなものでしょうか？
織田課長	通常の運営の年度にはない、特殊事情がある年度について、何らかの取り組みがあった場合に、「その他」として評価しています。
小海委員	「その他」の評価項目を、「事業効果」の方だけに入れて、「管理状況」の方には入れていないのはどのような理由によるものですか？
織田課長	基本的に「管理状況」は、例年の変動要素の少ない取組みを中心にしており、改修工事等の大きな変動要素については、「事業効果」で評価するようにしています。
小海委員	「その他」の評価項目について、東京体育館は○の評価であり、駒沢オリンピック公園総合運動場については◎となっているのはどのような理由でしょうか？

発言者	内容
小室委員長	<p>駒沢オリンピック公園総合運動場は、昨年度新しく竣工した施設がありますが、8月に大雨による浸水や雨漏り等が発生し、その際に指定管理者には緊急対応等の尽力をいただきました。</p> <p>土嚢を設置したり、オリジナルの止水板を設置するなどの取組みを行っていただくなど最大限の努力をして頂いており、その点を評価しています。</p>
織田課長	<p>武蔵野の森総合スポーツプラザは、新しい施設ですが、何かお気づきの点はありませんでしょうか？</p>
守泉委員	<p>視察はもう1週間後に行えれば、夏休みに入るので、施設の利用者層がより把握することができたと思います。</p>
小海委員	<p>「プール施設の管理」の評価項目について、東京体育館は◎の評価ですが、武蔵野の森総合スポーツプラザは○となっていますが、これはどのような理由でしょうか？</p>
織田課長	<p>東京体育館については、仕様で決められた水質検査の回数を超える点検を実施していることで◎としています。武蔵野の森総合スポーツプラザについては、仕様通りの運用となっているため、○と評価しています。</p> <p>また、東京体育館については、個人の利用者が多く、利用者のマナーの問題などもあり、施設の清掃については苦勞をしている部分あると思います。これまでのノウハウを活かして、利用者から見て見苦しくならない工夫を行っています。紙コップ層の回収方法を工夫したり、屋外の吸殻をこまめに回収するなどの取組みを行っています。</p>
守泉委員	<p>帳簿関係書類の保存が5年間となっていますが、税務面では最低5年間の保存が必要ですが、人事関係では7年間となっています。都税の関係でみると7年間保管となっているため、7～10年間保管しておくと思えます。</p>
小野塚 課長代理	<p>東京都の文書管理規定というものがあまして、本件はそれを準用していると思われます。</p>

小室委員長	<p>廃棄のサイクルは、1年保存、3年保存等ありますが、スペースの問題もあり、文書廃棄についてはシステムティックに実施するということが、現状出てきています。</p>
守泉委員	<p>公文書もデジタルアーカイブの時代に入ってきているので、文書保管につい</p>

	でもデジタル化する方向にあると思います。
--	----------------------

発言者	内容
守泉委員	予約システムについてはどのような状態になっていますか？
織田課長	大きな棲み分けとして、大規模体育施設とテニス関連施設に分かれています。
守泉委員	全体のシステムについては、データが多くなっていることなどもあり、老朽化している可能性があります。また、脆弱性の問題も出てきているかもしれません。また、事故が発生した場合でもどのように対応すべきか、どのように復旧するかなどについても対応はできているのでしょうか？
小室委員長 織田課長	現状は確認できていませんが、指定管理者との間で行われるパートナーシップ会議の中で、頂いたご指摘を共有し、指定管理者の問題意識について確認したいと思います。
織田課長	以上で、一次評価の結果についての説明を終了致します。これから休憩と致します。よろしくお願い致します。

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京都障害者総合スポーツセンター】 10:46～

指定管理者：公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会

発言者	内容
織田課長	指定管理者によるプレゼン、質疑ということで再開したいと思います。
小野塚 課長代理	<p>それでは、指定管理者様によるプレゼンテーションを開始致します。</p> <p>プレゼンテーションの時間は10分間となっております、その後、5分間の質疑応答の時間を頂きます。残り3分になりましたら、事務局より合図をさせていただきます。10分経ちましたら、ベルを鳴らします。お時間の管理をよろしくお願ひします。それでは準備がよろしければお願ひ致します。</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>よろしくお願ひします。それでは資料に基づいて説明致します。</p> <p>大項目「施設運営の基本姿勢とその具体化」の「サービス提供の考え」についてです。第三期指定管理者の二年目にあたり、指定申請書の記載事項などを踏まえ、施設の効率的な運営と利用者支援の充実のため、利用者のライフステージにあったサービスの充実に努めてまいりました。また、広域スポーツセンターとして協会と一体となって、地域での障がい者スポーツの振興を推進してきました。また「東京都障がい者スポーツ振興計画」も踏まえ、平成29年度に新たに策定した「東京における障がい者スポーツ振興ビジョン」の実現に向け計画的に取り組んでまいりました。</p> <p>「職員の資質向上」についてですが、全ての職員が質の高いサービス提供することを目的として、職員研修実施要綱に基づき各種研修を実施しました。また、人材開発の観点から独自の助成制度により職員の資格取得を支援しました。29年度の主な実績は次の通りです。</p> <p>全体研修は、精神障害の理解と対応・アプローチの仕方、振興ビジョン実現に向けてのディスカッション（ワールドカフェ方式）を実施しました。管理職研修はハラスメントの研修を実施しました。個別研修についてですが、福祉職員職務階層別研修「初任者研修」「中堅職員研修」、メンタルヘルス講習会などを実施しました。</p> <p>「安全対策・環境配慮等の実施」資格取得についてですが、東日本大震災を踏まえ、「災害活動相互応援協定」を結んでいる近隣の都立施設と大震災を想定した合同防災訓練を7年前から始めております。今回は、改修工事に伴い仮設施設ではございましたが、情報伝達の訓練を実施しました。また、普通救命講習会を毎年開催し、スタッフ全員の参加を義務付けています。</p>

発言者	内容
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>また、水上安全に係る研修のため、他の施設にスポーツスタッフを派遣しまして、水難事故の防止に努めました。</p> <p>さらに、LED照明に切り替えて、全所的に節電に取り組み、館内共用部分の照明の間引きも実施しました。</p> <p>続きまして、大項目「利用者支援のさらなる充実」についてです。</p> <p>「利用者の状況」ですが、平成29年度は年間延べ約8万1千人となっており、改修工事に伴う一部施設閉鎖に伴い、対前年度比は約50.9%減少しております。個人利用と団体利用の比率は、個人が82.5%、団体が17.5%となっており、前年度比は個人が62.5%、団体が37.5%となっています。通常ですと、個人が約60%、団体が約40%ですが、平成29年度については、仮設運営ということで、小体育館くらいしか利用できる場所がなかったため、団体利用が少なくなっています。また、体育館を、1週間単位で個人利用の週・団体利用の週に分け、利用しやすいように工夫しました。</p> <p>次に「利用者ニーズの把握と対応」についてですが、平成29年度より、独自のアンケート調査を作成し、利用者のニーズを把握に努めました。有効回答数は325名で、87.3%の方から「職員の対応について」大いに満足・満足という回答をいただきました。</p> <p>また、多摩障害者スポーツセンターと合同の「苦情調整委員会」を設置し、四半期ごとにセンターに寄せられた利用者からの苦情や要望等への対応を協議し、運営の改善に努めました。</p> <p>それから、館内に投書箱を設置し、利用者からの要望・意見を把握し、回答を館内に掲示しました。</p> <p>次に「改修工事期間中の円滑な施設運営」についてですが、改修工事期間中の仮設施設での運営については、利用者一人ひとりの状況に応じた支援を行いました。また、体育館・トレーニング室・卓球室のみであったため、外部施設を確保し、利用に供しました。外部施設としましては、都立舎人公園テニスコート、有明テニスの森テニス施設、東京体育館、東京都健康プラザハイジアブル、首都大学東京荒川キャンパス(体育館、テニスコート)などとなっており、これらの外部施設の協力により、個人利用開放並びにスポーツ教室、大会等のセンター運営を行いました。なお、個人利用につきましては、職員2名を派遣し、利用者の支援を致しました。</p> <p>事業としましては、仮設運営の中で、主催事業として55事業を実施しました。前年度は64事業でしたが、この差は水泳のプールが無かったことによる減少分となっています。</p>

発言者	内容
小室委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今のプレゼンテーションや施設面につきまして、委員の皆さまからのご質問をお願いします。</p>
守泉委員	<p>3点あります。</p> <p>1点目ですが、「人材開発の観点から独自の助成制度により職員の資格取得を支援した」というのは、資格取得のための資金援助を行ったということでしょうか？さらに、資格を取得した場合に、資格手当の形で支出しているものでしょうか？</p> <p>2点目として、大震災を想定されていますが、首都直下を想定しているのか、東京湾沖を想定しているのか、どちらでしょうか？</p> <p>3点目は、「マニュアルを新たに検討」と記載されていますが、作成はされていないのでしょうか？また作成はいつを予定されていますか？</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>3点目のマニュアルについてですが、平成29年度は検討中でしたが、平成30年度に入りましてからは、実際に施設を使ってもらうことから、既に作成をしております。</p> <p>2点目の大震災についてですが、近隣の施設と一緒に取り組んでいます。施設が一時待避所となっているため、防災備蓄についても準備しています。</p> <p>首都直下・東京湾沖の想定については、東京都から指針が出されれば、それに従う形で備える予定です。</p> <p>1点目の資格取得支援については、資格取得のための講習会への助成とお考えください。また、研究活動についても助成しています。</p>
守泉委員	<p>手当は出しているのでしょうか？</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>例えば、健康運動指導士を取得すると、更新が必要になりますが、更新料は自前となっています。</p>
小室委員長	<p>医療・福祉等の関係機関・団体との連携のところですが、スポーツ活動経験者等の「新たな利用」の促進ということで講座を年2回開催されています。</p> <p>これは平成29年度のみ実施しているのか、それとも今年度も継続して実施しているのかということが1点と、この実施により、新規の利用者の実績があがっているのかいないのか、その辺はいかがでしょうか？</p>

発言者	内容
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>講座は平成28年度も実施し、平成29年度も継続して実施しています。平成28年度は昼間2回実施し、29名の参加がありました。平成29年度は昼と夜に実施し、60数名という形になりました。</p> <p>これは理学療法士や福祉の関係の方々に来ていただいて、施設を知って頂くことで施設のPRを行い、それぞれの施設の利用者にも話をさせていただいて利用者増につなげることを目的としています。</p> <p>実際に利用者がどれだけ増えたかというデータはありませんが、「先生から話を聞いてきた」という方もいらっしゃいます。また、アウトリーチ事業ということで、実際に病院に出かけて行って、理学療法士やスタッフの方などに同じように説明を行っています。そして、その方を通じてそこに通っている患者様や業者の方に繋げていただくようにしています。同様に、「話を聞いて来た」ということも聞いていますが、実際にどれだけの数になるかは把握していません。</p> <p>東京都理学療法士協会と連携し、近隣の帝京大学心臓リハビリのPTとも連携ができており、多くの利用者に来てもらっています。帝京大学心臓リハビリのPTの方にセンターの利用方法をしっかりと確認していただき、相互理解の上、実施しています。</p>
小室委員長	<p>東京都障害者SCの利用は登録制になっていると思います。このような良い取組みをされているのであれば、登録の際に、どのようなルートで利用されたかについても把握できるはずですので、新規ルートの方々については、カウントする方が良いのではないかと思います。アピールする材料にもなると思います。</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>新規の利用の方は毎年800～900名となりますが、新規のルートの方については、小室委員長のご指摘の通り、把握していこうと思います。</p>

発言者	内容
守泉委員	<p>診療所と大病院の間では、紹介件数やどういう地域からどういう紹介があったかを記録しています。</p> <p>病院に関しては地域包括ケアというものが今年から入ってきていますが、まだ見えない部分が多いです。それとリハビリやスポーツの関係がどうなのかという点はこれからの部分もありますが、この点に関連して、障害者SCが重要な役割を果たせると思います。地域包括ケアについてどのように取り組んでいったら良いか、まだみんな分からない部分もありますが、何かアピールできることがあれば今後にとっても良いと思います。</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>医療連携講座の中で、医療相談の先生に講師としてお話して頂いた際に、地域包括ケアというシステムがあり、この地域包括ケアの中に、障がい者スポーツが入っていないのは問題であるという発言を頂きました。このような話を理学療法士の方や福祉の方に聞いて頂いたことは非常に良かったと思います。</p> <p>守泉委員のご指摘の点は、重要な視点として、私どもも取り組んでいきたいと思っています。</p>
小室委員長	<p>以上をもちまして、東京都障害者総合スポーツセンターのプレゼンテーションを終了致します。ありがとうございました。</p>

二次評価の審議【東京都障害者総合スポーツセンター】 11:12～

発言者	内容
織田課長	<p>それでは二次評価の資料6をご覧頂きたいと思います。この中の障害者総合スポーツセンターについて評価を行いたいと思います。今ヒアリングを聞いて頂きましたが、全体の内容として利用者が安全かつ快適に利用できるよう適切な・適正な管理を行っている点、そして質の高いサービスを実施するため職員の研修体制を整備している点、改修工事に合わせた適切な運営を取っている点、地域振興事業として多くの参加者を集めている点、改修工事の影響で利用者減少ということがあるが堅実な運営を行っているという意見を各委員から頂いております。事前に頂いていた各委員のご意見の総合で言いますと、A評価が適切かと考えていますが、皆様、ご意見はございますか？</p>
小室委員長	<p>今のプレゼンでもし修正を加えることがございましたら、ご指摘をお願いしたいと思います。</p>
守泉委員	<p>地域振興事業について、先程のプレゼンでは「多くの」という発言がありました…</p>
小室委員長	<p>数を把握していないとの、あまり「たくさん」ということを積極的におっしゃってなかったのも私もあまり多くはないのかという印象を受けました。</p>
守泉委員	<p>このところは「多くの」というべきか疑問に思いました。いまの話の中でも、実は医療福祉との連携の部分はすごく将来的には良い部分です。その点をまだ小規模でも取り組み始めた点は、これを地域振興事業と同列にして評価してあげても良いのではないかと思います、いかがでしょうか。</p>
小海委員	<p>地域振興事業で、東京都理学療法士学会大会や東京2020大会1,000日前カウントダウンイベントは、去年は実施していなかったものです。去年の参加者は500名くらいだったのが、今年は3,500名程になっているので、「多くの」というのはこのことを指しているのだと思います。</p>
小海委員	<p>こういうのを地域振興っていいのですかね？というのが一つあります。</p>
守泉委員 小海委員	<p>中身を見ると普通のイベント的な部分もあって地域振興事業ってどれなのかが見えなかった。地域振興事業とスポーツ振興という枠組みがあって、その線引きが分からないという部分があります。</p>
小室委員長	<p>地域振興の部分に書いてしまっているようですね。次の多摩障害者スポーツセンターについても、地域振興事業の充実という部分で、スポーツ振興事業の代わりに、医療、福祉の関係機関との連携と書いています。これはスポーツ振興事業に準じて読み替えて良いのでしょうか？</p>

発言者	内容
小野塚 課長代理	実地調査の際にも、スポーツ振興事業の中で評価をさせていただいています。
小室委員長	<p>ここをどう評価するか。だから具体的な数字を聞きたかった。その点があまり明確でなかった。</p> <p>講習会を実施した場合、講習会に何人来ていただいたか、そのこと自体はアウトカム資料にならずアウトプット資料になってしまうので、そこで具体的な利用者がそういうルートでご照会があつて登録者が増えた、という結果が上がってこそ評価が出来ると思います。</p>
守泉委員	今おっしゃったように、この文章の書き方では、アウトカム、アウトプットの部分があまり意識されていない。
小室委員長	<p>講習を実施したということで、それだけでは評価はしづらいと思う。</p> <p>こちらの二次評価はこちらの事務局で纏めさせて頂いた案でよろしいでしょうか？</p>
他委員	はい、良いと思います。

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京都多摩障害者スポーツセンター】11:18～

指定管理者：公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会

発言者	内容
小野塚 課長代理	よろしいでしょうか。ご準備宜しければお願いいたします。
東京都多摩 障害者スポ ーツセンタ ー職員	<p>それでは東京都多摩障害者スポーツセンターについて説明させていただきます。障害者総合スポーツセンターとかなり共通した点があると思いますが、ご容赦ください。</p> <p>まず「施設運営の基本姿勢」ですが、サービス提供の考え方についてです。施設の効率的な運営と利用者支援の充実、利用者のライフステージに合ったサービスの充実、これが3本支柱になっております。地域については、協会と一体になって地域での障がい者スポーツ振興に推進しております。先程議事録という形で紹介しましたが、私共の協会も、「東京都障がい者スポーツ振興計画」を踏まえ、「東京における障がい者スポーツ振興計画」を策定し、引き続き取り組んでいるところでございます。</p> <p>それから「職員の資質向上」ですが、利用者への質の高いサービスとニーズに沿ったサービスの提供ということで、職員研修を実施しております。「精神障がい者の理解とその対応について」あるいは「振興ビジョンの実現に向けて」というテーマで研修を実施しました。課題別研修ということで「記録研修」を実施しました。毎日のようにそれぞれ施設の記録簿を残しておりますけれども、そういったものの研修です。それから「からだの使い方について」という研修も行いました。また個別研修については、東社協という協会にお願いしまして、基盤強化の研修や「管理者向けのメンタルヘルス講習会」を実施しました。</p> <p>精神障がい者の利用についてですが、現在は、肢体障がい者、知的障がい者、この次の3番目に精神障がい者が来ております。少し増える傾向にございます。コミュニケーションの非常に難しい部分がございますので、そういった意味でも研修を行っております。また、職員の能力開発・意欲の向上を図るための資格取得を奨励しています。中級障がい者スポーツ指導員、トレーニング指導士の養成講習会、水中運動指導士、レクレーションインストラクターなどを昨年の実績としては各1名が受講、取得しております。</p>

発言者	内容
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>「安全対策」についてですが、大地震を踏まえ毎年総合防災訓練を実施しています。私共の施設には、福祉の心身障害者福祉センター多摩支所が建物の中に共存しておりますので、そちらと常に一体となって訓練をしているところです。体育施設の中でプールの事故というものは大変重要なものですから、プールでの事故防止の為、月1回の水難救助訓練を実施しています。また夏には、水上安全法講習会を実施しました。</p> <p>次に「環境にやさしい施設運営」についてです。建物の衛生的環境を確保するという事で、事務所等におきまして、二酸化炭素等7項目について空気環境測定を2か月に1回実施しております。またプールについて、大腸菌群の一般細菌項目について毎月の水質検査を行っております。実際にはプールロボットというのがございまして、これで掃除を行っております。館内の給湯ですが、太陽光（ソーラーシステム）を利用する施設を備えております。館内の手洗い等のお湯はそちらを実際に利用できるシステムになっております。太陽光発電についても、改修で新たに加わるようになっております。その他、LEDを導入して省力化に努めていること、事務室等の窓に植物を生育させるグリーンカーテンの取組みを行っております。</p> <p>次に「利用者支援の充実」についてです。利用者総数は、平成29年度は162,418人、前年比で7,231人減少しております。現在、調布にある味の素スタジアムの仮庁舎で営業をやっておりますが、この移転のため、3月はほぼ1か月休館したことによるものです。休館すると7%くらい利用者が減ると予想しておりましたが、4~5%で留まったため、良かったかと思っております。また、近隣の小金井特別支援学校・立川聾学校が校舎の改築に入っており、昨年に引き続き児童・生徒の受け入れを図っております。</p> <p>次に「利用者ニーズの把握と対応」についてです。こちらでも東京都障害者総合スポーツセンターと同様に、独自アンケートを実施しております。こちらで利用者ニーズの把握、サービスの質・向上を図っているところです、有効回答数が515件、92.6%の方から「職員の対応」について、「十分もしくは、ほぼ十分」という回答をいただきました。アンケートに関しまして、全般的に項目が70%を下回るものはなく、ほとんどの項目で80~90%という結果が出ております。それから東京都障害者総合スポーツセンターと合同で、苦情調整委員会を行っております。館内に投書箱を設け、利用者から投書が入った場合には、すぐに回答できるものについては直ちに回答を館内に貼るようしております。</p>

発言者	内容
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	各センターに寄せられたものについては、四半期ごとに東京都障害者総合スポーツセンターと一体となりまして苦情調整委員会を開催し、運営改善に努めております。
小室委員長	ありがとうございました。では委員の皆様方、何かございましたら。
丸山委員	<p>すみません、お伺いしたいことがございますので、もし宜しければお答えいただけたらと思います。</p> <p>私は実は東京都の2つのスポーツ種目の会長を仰せつかっております。東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、有明テニスの森を使っているのですが、そこで私たちの大きなテーマは、障がい者と健常者の融合というものがああります。言うのは簡単ですが、実際に進めるのは難しい。私は多摩の方に住んでいるので、一度施設を是非見せて頂きたいと思っています。北区の施設を見せていただいた時に、素晴らしいというふうに感動したんですね。我々が健常者と障がい者の融合という場合、普通の体育館や普通のスポーツ施設なのですね。そこで、2点質問させていただきたい。</p> <p>1点、一般の施設だと一般の利用者がどんな苦情を言うてくるのか、だいたい見当がつきますが、障がい者のスポーツ施設の場合に、利用者から苦情は、どんなことがくるのでしょうか。もし差支えが無ければ教えてもらいたい。</p> <p>それから私はレクリエーション協会にも所属しておりますので、レクリエーションには非常に興味があります。ここで、レクリエーション活動となっている内容などを、もしご紹介いただけたらお願いしたい。この2点をお願いしたい。</p>
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>はい、ありがとうございます。今仮設施設ですけれども是非こちらの施設にも足を運んでいただければ有り難いと思います。</p> <p>では1点目の苦情の中身ですが、利用者ニーズの把握と対応というところで去年の実績では30件と載っておりますが、この30件の中身は実は、投書を頂いた中身ということなのです。その他に、窓口、電話ですとか手渡しなど直接頂ける苦情というのもございます。中身は本当に様々で、職員の対応、接遇に関するものです。あるいは食堂の関係ですね。高い、不味い、サービスが悪いなど。送迎バスの関係、後は去年までは老朽化しておりましたので、設備的な備品の関係など様々のご意見をいただいております。頂いたご意見につきましては直ぐに出来るもの、時間が掛かるもの、出来ないものと分けてその結果を館内に回答という形で周知を図っております。</p>
丸山委員	2点目はレクリエーション活動の中身、どんなことをしているか。

発言者	内容
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	はい、レクリエーションはスポーツ活動の中で、レクリエーションスポーツ教室というのを実施しております、年に14回実施しました。各職員が月毎に担当、2名ずつに分かれまして、その中でどうやって利用者の方に楽しんでいただくかというのを企画書からプログラムしまして、それを実施して楽しんでいただきます。中身としては、例えばミニ運動会ですとか、七夕を作りまして、そこに運動を絡めていくとか、独自の職員の面白い企画で楽しんでいただいております。あとインドアペタンクというのもあるのですが、こちらは昭島市のスポーツ推進委員さんをお願いして講師として来ていただいきまして、利用者の方にペタンクを知って頂くと共に、楽しんで頂くということで取り組みをしております。
丸山委員	ありがとうございます。
小海委員	質問があります。まず1点目なのですが、個人利用される方の入れ替わりの割合、29年度は新規で何人の方が入られて、もう通われなくなった方が何人くらいおられるのか、というのを教えてください。
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	厳密な統計とまでは取れておりませんが、新規は多摩の方は700~800名位で推移しております。利用されなくなった方のデータについては、システム上、5年更新という形で行っており、5年来なかった場合は削除という形にしております。ただ5年間来なかった方の厳密な数字までは把握しておりませんが、システムはそのように行っております。
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	年間の利用ってそんなに変わっていないので新規で700~800名というのと、おそらく、その分だけ利用しなくなったのかな。単純計算だと。 年間利用者ってほとんど変わっていないですよ。
小海委員	気になるのが、利用されなくなった方の何か理由というのは具体的に把握されておりますか？まあ色々な理由があると思いますが。
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	具体的にそういった調査を行ったわけではありませんので、明確なことはお答えできないのですが、ただ例の28年度にスポーツ基本法の中で、障がい者の方への設備を充実させるという様なことを定めて以来、徐々にではありますが地域に出て行っているのかなと思います。国立にあります市民体育館なのですが、そういったところでは、徐々にですが増えてきていると情報ももらっております。徐々にではありますが、そういった地域の方に出て頂いているのかなと思います。我々が理想としております身近な地域でスポーツを楽しめる環境が整ってきているという印象はあります。

発言者	内容
小海委員	はい、ありがとうございました。
守泉委員	<p>利用者の状況のところ、この辺の地域の細かいところが分からないのですが、以前に別のところで調査した時、全国的にみると今、小中学校等が統合されている一方で、特別支援学校が非常に増えています。「障がい者の人っていうのは数が増えているのですか？」ということをおある県の人に質問した時に、実態としてそういうわけでは無くて、発達障害に関してのケアというのがより高度な形が出来るようになったので、今まで普通の学校に通っていた方が、むしろこういうところに移って行って、適切なケアを受けた方が良い状況になってきたので、人が移ってきているという話をしてもらいました。この辺の地域としては発達障害に関して増えてきているのか、そういうものに対しての利用者の状況、それに対するケアの状況はどのようにされているのでしょうか。</p>
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>特別支援学校の問題でもあると思います。東京の場合は色々複雑でして、例えば地域を超えて障がい者の方が移動するということもあります。大都市で新しい学校が出来たとか色んなことで、先程のそういう方が増えているかどうかということについて、かつて、特別支援学校には行かず普通学校で抱えていた子供たちが、積極的にそういうところを使うようになってきたというのは事実ではないでしょうか。私どもがセンターを管理していても、やはりそういう方達が増えていると言いましたけれど、今の話はどちらかというと知的障害の方の問題だと思います。やはり対応がたくさんあるというのは事実です。実感としてですが。</p> <p>施設の利用状況なのですけれども、統計を取ったわけではないので何とも言えませんが、私共には様々な事業がありますが、どの障害の方でも誰でも利用して良いですよ、という受入の形を取っております。その中で特に地域交流事業などでは、日曜広場、遊びの広場、トランポリンなどの中に、発達障害の方が増えているということが、主観的ですが感じられます。今、調布に移り新たな新規利用者の方を獲得したいということで、近隣にある特別支援学校全てを訪問して、味の素スタジアムのところに多摩障害者スポーツセンターがあるので是非生徒さんに利用して頂きたい、ということを説明に行きました。特に、学校でクラブ活動をやっている生徒さんは、時間が来ると家に帰らなくてはならないという部分がありますが、この施設は20時30分までやっていますので、自分のスキル向上などにもセンターを利用してください、ということをお近隣の特別支援学校全てに、先月説明したばかりです。</p>

発言者	内容
小室委員長	<p>少しだけ補足させていただきますと、この4月に改修の為に多摩障害者スポーツセンターさんは仮の場所に移転されていて、その仮の場所というのが味の素スタジアムの中にあります体育施設です。東京都の行政財産として持っているスペースがございまして、そこにバリアフリー改修工事を昨年都の方で行い、そこを今お使いいただいております。そこにはプール等ございませんで、プール等の施設は外部のものを使わせていただいている、そういう運営をやっております。</p>
小室委員長	<p>ひとつだけ伺いたいのですが、上から4つ目「環境にやさしい施設運営」のところ、プールロボットについてのコメントがあるのですが、実は私プールロボットをビックサイトみたいな展示場で1回見たことがありまして、2年位前に。結構新しい物ではないかという認識を持っていたのですが、これを導入なさったのはいつ頃かということと、これを入れたことで、水質が改善されたのかどうなのか、この効果について伺いたいのですが。</p>
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>最近ではないです。かなり古いです、10年位。前から導入しておりまして、夜施設が終わりますと準備して入れて朝始まる前に改修する。ロボットの上にごみを回収する袋が付いておりまして、それに結構入っております。髪の毛とか様々な物が。それが有ると無いのとでは大分汚れが違ってくると感じられます。</p>
小室委員長	<p>この水質検査を定期的にやってらっしゃるのですか。毎日実施、これは清掃ですか。毎月の水質検査っていうのは仕様書に決められた回数でやってらっしゃるといっていいのでしょうか。</p>
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>水質検査につきましては、保健所指導のもと毎時間1時間に1回ずつ実施しておりまして、毎日のプール日誌に全て記載して1年間保存している状況であります。また、1年間に保健所2回くらい抜き打ちで検査に来ます。 職員のほかに業者にも委託しまして、水質検査は行っております。月1回です。</p>
小室委員長	<p>では、以上を持ちましてプレゼンテーションを終了致します。 ありがとうございました。</p>

二次評価の審議【東京都多摩障害者スポーツセンター】 11:49～

発言者	内容
織田課長	<p>では二次評価の資料6、最後のページ、東京都多摩障害者スポーツセンターですけれども、東京都障害者総合スポーツセンターとほぼ同様のコメントを頂いておりますけれども、利用者への安全配慮、そして法令や協定、事業計画に沿った適正な管理を行っている。スポーツ教室の開催等スポーツの普及活動に努めている。利用者アンケート良好ですけれども、満足度の低い項目も昨年を引き続きあったという評価も頂いております。トータルの評価としては、一次評価として皆様「A」が適切ではないかということですので、全体としての二次評価「A」ということをご確認いただきたいと思います。</p>
小室委員長	<p>いかがでしょうか。 宜しいですか。</p>
織田課長	<p>ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京体育館】12:40～

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

発言者	内容
織田課長	<p>それでは午後の議事を始めたいと思います。指定管理者によるプレゼンテーションでございます、東京体育館のプレゼンテーションに入りたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
東京体育館職員	<p>東京都スポーツ文化事業団の事務局長で、東京体育館館長をしております。よろしく願いいたします。</p> <p>委員の皆様には、日頃より東京体育館の運営に関しまして、ご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。これから、私より東京体育館における平成29年度の管理運営状況についてご説明させていただきます。お手元の「平成29年度管理状況（東京体育館）」と題しました資料に基づき説明させていただきますので宜しくお願いしたいと思います。</p> <p>はじめに「施設の提供」でございます。東京体育館では日本を代表する体育館として、様々な屋内スポーツの世界大会や全国大会を開催し、都民の皆様にも多くの夢や感動を提供できるよう努めて参りました。平成29年度におきましても「イオンカップ2017世界新体操クラブ選手権」「バレーボールワールドグランドチャンピオンズカップ女子東京大会」「柔道グランドスラム東京2017」「ヨネックスジャパンオープン2017バドミントン選手権大会」等、国際大会をはじめと致しまして、全国大会等の大規模大会を数多く開催いたしました。また、そうした大会で出場選手が最高のパフォーマンスを発揮出来るようにすると共に、観客の方が安全・安心かつ快適に観覧できるよう、主催者と緊密な連携体制を構築し、効果的で円滑な大会運営に協力して参りました。更にはビーチボールバレーやフォークダンス等、スポーツレクリエーション種目の大会を開催することで、より多くの方がスポーツを親しむ機会の提供を行い、スポーツ実施率の向上に寄与して参りました。その他、メインアリーナの空いた利用枠を活用いたしまして、公共性を担保しつつ、サーカスやコンサート等、スポーツ大会以外の興業イベントも誘致することで、都民の皆様にもスポーツ以外にも親しむ機会を設けると共に、収益の確保を図って参ったところでございます。こうした収益は、備品購入や設備更新等に充てるなどサービスの拡充を図り、都民の皆様にも利益を還元していきたいと考えております。</p>

発言者	内容
東京体育館 職員	<p>また本施設は、東京2020大会において卓球競技の会場となることから、開催準備に向けた組織委員会との調整や、今月から開催されます大会会場整備の改修工事に係る各種調整を、東京都と進めて参りました。当グループと致しましては、引き続き東京2020大会の成功に向けて、総力を挙げて取り組んで参りたいと考えております。なお、今回の工事休館は前回の休館を上回る長期の休館となることから、利用団体や個人利用者には丁寧な説明を行い、ご理解頂けるよう努めて参りました。再開館後は、再び東京体育館を利用して頂けるよう、今後とも利用者へのきめ細かな対応を続けて参ります。</p> <p>続きまして、「防災への配慮・緊急対策」でございますが、東京体育館は東京2020大会会場になっていることもあり、安全・安心な施設運営が求められております。災害やテロ発生の備えた防災活動への取り組みとして、東京体育館防災計画に基づき、警察・消防監修の下、9月・3月に自衛消防訓練を行いました。訓練にはコンソーシアム全体全社、及び館内のレストラン等を含めた関係団体が参加し、連携して自衛消防活動に当たることで、テロや災害発生時の自衛消防組織の実践力向上を図りました。また警察・消防と連携し、自衛消防活動に必要な技能やテロ対策に関する知識の習得を図り、緊急時に適切な措置・対応が取れる体制・整備を進めて参りました。</p> <p>次に「利用状況」の個人利用でございます。平成24年度の大規模修繕工事のため大幅に長期間休館し、平成25年度に再度開館したものの、利用者の戻りは鈍く、平成25年度の利用者数はかなり大幅に減少いたしました。しかし、横断幕の設置や近隣住民の方への折込みチラシの配布、近隣駅での広告掲示等のPR効果、ポイントカードによるリピーター獲得策等に積極的に取り組んだことが功を奏し、ようやく休館前の水準まで利用者が戻ってきたところでございます。平成29年度の利用者数は677,725人となっております。平成28年の679,297人と比較いたしますと、東京都の工事による休館のため、利用日が減ったことや、積雪低温などの影響により1,572人の減少とはなっておりますが、引き続き67万人台後半を維持しており、休館前の平成23年度の水準に近づいてきたところでございます。次の施設稼働率についてですが、施設の空き状況をホームページで公開するなど、空いた枠を有効活用するよう努力した結果、指定管理を開始した平成18年度以降、メインアリーナ、サブアリーナ共に100%近い稼働率となっております。</p>

発言者	内容
東京体育館 職員	<p>平成30年度に再び長期の休館になります。個人利用、団体利用とも利用者離れが予想されますが、当グループと致しましては、過去の休館時の対応で培ったノウハウを活用し、再開館に向けた準備をして参りたいと考えております。</p> <p>次に「スポーツ振興事業の実施状況」についてご説明いたします。スポーツ振興事業では、子供や子育て世代、働き盛り世代、シニア世代、障がい者といった様々なライフステージ、障害の部分に応じてスポーツに親しみ、楽しむことが出来る事業や観戦事業、更には東京アスリートの育成に向けた選手向けや指導者向けのセミナーなど競技力向上の事業を行い、計画した27事業をすべて行いました。その際、より多くの方に参加して頂けるよう、参加料金の見直しなどの部分も行いました。</p> <p>「自主事業の実施状況」についてですが、施設の有効活用を図りながら、都民のニーズに則した事業、多彩で魅力的なプログラムの展開を行ってまいりました。特に屋内プールで行っている子供向けスイミング教室は、年間参加者数延べ6万5000人余りと非常に好評で高い人気を博しました。</p> <p>続きまして「サービスの向上に向けた取組」ですが、東京都が推進している施設サービス・魅力向上プロジェクトや、都政改革本部顧問団のご意見を踏まえまして、館内掲示物の見直しを行い、美観の改善や利用者の利便性向上を図りました。また毎年11月～2月の冬季に、エントランス前の広場でイルミネーション点灯を行っていましたが、今年度はこの期間を延長し、7月の休館までの期間、引き続き点灯を行い憩いの場を提供して参りました。この他、当館外国の方からの利用者も多く、英語によるお問い合わせも多いことから、英語を話せるスタッフを活用し、窓口に配することで多言語サービスの充実を図りました。</p> <p>次に「利用者に対するサービス提供事業の実施状況」ですが、プール棟上部のレストランは、平成27年6月に新たにカフェレストランとしてリニューアルオープンして以来、朝早くから夜遅くまで多くの方で賑わい人気を博しております。また平成25年度から個人利用施設で営業しているアスリートカフェも、待ち合わせやスポーツの語らいの場として多くの方に親しまれてきました。更にプール、トレーニングルームでは、利用者向けにシューズやタオルのレンタルを実施して参りましたが、東京体育館は千駄ヶ谷駅前という好立地でもあり、個人利用者向けのレンタルを充実させることで、誰もが手ぶらで気軽にスポーツができる環境を創出し、スポーツ実施率向上に努めてまいりました。</p>

発言者	内容
東京体育館 職員	<p>続きまして「利用者ニーズの把握」「利用者の満足度」ですが、東京体育館では毎年利用者懇談会を開催し、利用者のニーズ把握に努めております。更に個人利用については、従前からご意見箱に利用者の意見を収集し、事業の改善を行っておりますが、こうしたご意見に対する当グループの取組みをお客様にご覧いただけるよう、対応状況を館内に掲示致しました。東京体育館では、利用者の満足度や利用状況を把握し、今後の事業展開に向けた基礎資料とするため、毎年利用者満足度調査を実施しておりますが、これらの取組の結果、平成 29 年度では 95.3%という非常に高い評価を得ることが出来ました。この調査結果につきまちはコンソーシアム各社の現場責任者で構成されております、実務担当者会議を通じて共有し、各社スタッフが利用サービス向上に向けた共通認識を持って業務改善に取り組みました。</p> <p>東京体育館の管理運営状況についての説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。</p>
小室委員長	では、委員の皆様にはご質問等ございましたら。
丸山委員	<p>では、一言だけ。お疲れさまでございます。わたくしも利用者の一人として、気づいたことを一点だけ申し上げます。以前から比べて現場の担当者がすごく親切になりました。前は「こうやれ、こうやれ」って指示されたのですが、今は「どういたしましょうか」いうふうになってきて、一般都民としてはとても使いやすくなってきたので、多分そういう現場担当者に対する指導が非常に上手く行っているのではないかと思います。差し支えなければ、どんなことを現場の方達にご指導されているか教えてください。</p>
東京体育館 職員	<p>いつもご利用ありがとうございます。東京体育館をご利用いただく方は、利用頻度としますと、毎日いらっしゃる方から年間数回いらっしゃる方まで、頻度は非常にまちまちですので、個人に特定したサービスをしているというわけではございません。どなたがいらしゃっても、初めてご利用いただくことでの施設のご案内、サービスの案内を常日頃からスタッフ共々気を付けております。</p> <p>後は、各現場間でご利用者の方が迷っておられる様な、どこに行ったら分からないという様な方は割とすぐに発見できるので、そういった方がいらしゃったらスタッフが近寄って行って「どうされましたでしょうか」とお声掛けをするのは励行しております。</p>
丸山委員	ありがとうございます。

発言者	内容
小海委員	スポーツ振興事業の事で一つ伺いたいのですけど、全27事業というのは28年度から29年度で新たなものを入れたとか、入れ替えたという事はあるんでしょうか。それとも28年度とほぼ同じという形ですか。
東京体育館職員	結論を申し上げますと、基本的に同じでございます。数年前、3年前、2年前ですかね、提案した時の事業を着実に実行していくということです。
小海委員	分かりました。その中で参加率の高い事業があったんですけど、その結果収支がかなり良い結果になっていると思うのですが、逆に参加率の低かった事業もいくつかあって、その辺に対する対策はどのような形でしょうか。
東京体育館職員	参加率の低かった事業に対しては、その中身を再検討しましたり、あと開催時期・場所・キャパシティ、そういったことを検討いたしまして専門家の方のご意見をいただいたりしながら進めていきたいと考えております。
小海委員	はい、ありがとうございました。
守泉委員	1点だけ簡単に。ちょっと他の記録のものを見ると駐輪場の事業のものが黒字化と書いてあるのですが、その一方で駐輪場の利用時間を2時間から4時間へ拡大したという事で、無料化の幅を拡大すると利益が下がってくるかなとは思っているのですが、その辺はいかがですか。
東京体育館職員	駐輪場につきましては利用者の意見を頂きまして、2年前ですかね、制度を改正いたしました。確かに無料時間を拡大しますと利益が下がるというところもあるのですが、駅前の駐輪場が、他のところがやっている駐輪場が閉鎖になるとか、他の環境も影響しまして、うちの体育館を利用する利用者だけじゃなく、駅を使う方とか買い物に来られる方々も総合的に増えたりして、それで利益が上がったのかなと考えております。
守泉委員	それは今後も恒常的にはその水準を維持できるという、その姿が良いのかどうかは別としても、結果としては続くと見て良いわけですね。
東京体育館職員	そうですね。この7月から東京体育館は休館になりましたので、休館が終わるとまた個人利用者が元に戻るかといったところもあるのですが、もし今まで通りだったら行けるのかなとは考えております。
守泉委員	ありがとうございます。
小室委員長	では、そろそろお時間が参りましたのでプレゼンテーションは以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。

二次評価の審議【東京体育館】12:57～

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

発言者	内容
織田課長	<p>では資料6、東京体育館、一番上でございます。各委員の皆様からのコメントのところでございますけれども、当該団体が長年管理運営に携わっており、利用団体との信頼関係も厚く、標準以上の管理が行われている。団体稼働率はほぼ100%を維持しているということでございます。全体的に利用者の満足度も高く、水準の高いサービス、自主事業の利用者も前年から実施率増ということでございます。</p> <p>国際大会・全国大会の開催ということで、その役割を十分に果たしているということです。今回は「A+」の評価ということで事務局案にしてございます。</p> <p>ご意見ございましたらお願いいたします。</p>
小室委員長	よろしいですか？では「A+」の評価で決定いたします。

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京武道館】13:03～

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

発言者	内容
小室委員長	大丈夫でしょうか。それでは東京武道館さんのプレゼンテーション。よろしくお願ひしたいと思ひます。
東京武道館職員	<p>それではお手元のA4資料に基づきまして、確認項目ごとに説明をさせていただきます。</p> <p>まず「施設の提供」についてご説明いたします。東京武道館は、武道の普及・振興を図る都の中心拠点施設であることから、綿密・適切な利用調整を行い、柔道・剣道・空手道の全国大会など、多様な大規模武道大会が数多く開催されました。また、当館を初めてお使いになる団体でも、万全に大会が開催できるよう、入場動線・選手待機場所・競技備品や設備の利用など、主催者と開催前から綿密な打ち合わせを実施し、円滑な大会運営に向けてのサポートにより、選手が持てる力を最大限発揮し、観客の皆様が快適に観戦できる質の高い大会の開催と、その成功に貢献いたしました。</p> <p>次に「施設・設備の保守点検」についてご説明いたします。東京武道館は、その名の通り総合武道施設して各種道場を有しておりますが、その中でメインとなる大武道場をはじめ、第二武道場、弓道場は共に床が木製であることから、安心安全・快適な利用に向けて、床の維持管理には特に注意を払って対応しております。具体的には、開館前の床清掃をしながらの確認や、利用終了後の日常点検と併せ、毎週月曜日に複数名の職員が目視・摺り足での点検を実施しています。軽微なささくれ等はその都度研磨し、さらに損傷の激しい箇所は床板を交換し、床面張替を実施するなどしております。また、畳を常に敷いている第一武道場には、毎日の日常清掃の際に除菌スプレーを噴霧し、清潔な状態を維持するなど、各道場とも素足での利用を前提とした安全・快適な利用を提供するため、適切な状態の維持に努めております。また、館内スタッフによる連絡会を毎月開催し、会議終了後はメンバー全員で施設巡回を行うなど、定期的な情報交換・共有に努め、不具合が生じた箇所の早期発見・修繕など、安全安心快適な利用に向けての不断の取組を行っております。</p>

発言者	内容
東京武道館 職員	<p>次に「事業効果」の中項目「利用状況」についてご説明させていただきます。まず、個人利用者数ですが、平成25年7月より始めました利用状況のTwitter配信、Tシャツ・短パン等のレンタル、ポイントカードの導入、レディースデー企画、近隣住宅への新聞折り込みチラシの配布など、利用者増を図るため、近年様々な継続的な取り組みを行った結果、トレーニングルームでの年間個人利用者が平成29年度は69,330人となりました。平成29年度は1か月間の工事休館期間がありましたが、それにもかかわらず、平成27年度、平成28年度に引き続きまして、3年連続過去最高利用者数を更新いたしました。</p> <p>次に「団体利用稼働率」ですが、平成29年度の大武道場の稼働率は86.8%でした。残念ながら、工事休館などの無い、通年開館年度としましては、過去最高でした平成28年度の87.3%には僅かに及びませんでした。ほぼ同水準の稼働率を維持いたしました。これは優先受付での綿密な利用日調整や、大規模大会の開催、定期的利用団体への施設空き情報の情報配信、平日利用が想定される学校運動部活動、チーム・サークルへのPR等、これまでの稼働率向上に向けた継続的な取り組みが効果を発揮していると考えております。</p> <p>次に「事業の取組み」に関する「スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況」についてです。スポーツ振興事業では、武道系部活動合同稽古等の青少年向け武道稽古をはじめ、子供や高齢者への武道体験など、武道に親しむことが出来る機会を提供し、33の事業を計画通り実施し、武道の普及振興に努めました。自主事業では、有名選手指導者ふれあい事業を実施し、武道、伝統文化に親しむことができる機会を提供するとともに、スタジオプログラムとして40メニュー（1,332回）を実施し、日常的な運動実践の場として好評を得るなど、スポーツ実施率の向上に寄与しております。体育の日記念事業では、子供の武道体験など多彩な体験機会を提供し、延べ9,000人を超える参加者が来館されました。今年度はチラシ作成枚数を増やして広報を強化するとともに、武道館前広場に小さな子供向けのふわふわ遊具を設置したり、スケートボード型のミニセグウェイの体験・K-1ファイターのデモンストレーション等のコンテンツを充実しました。これにより、東京武道館への関心を引き寄せることで、前年度比130%の参加者を記録いたしました。</p>

発言者	内容
東京武道館 職員	<p>次に「サービス向上に向けた取組」ですが、中央ホールに剣道の面・胴・小手等の武具を展示し、武道への興味・関心の喚起を図りました。大武道場の競技種目別使用のうち、バレーボールが約1割を占めておりますが、支柱が老朽化したため更新いたしました。そして、利用者からの要望を受け、冬場でも快適に弓道を行えるよう、暖房器具用の電源を確保する工事を行いました。また、トレーニングルームの運営業務については、工事休館を活用して人気のランニングマシンを増設するなど、ほぼ全てのマシンを最新式のものに変更し、利用者数の増加に伴い不足し始めたシューズロッカーを増設するなど、利用者の声を取り入れ、サービス向上の取組みを進めました。</p> <p>「利用者ニーズの把握」ですが、利用者満足度調査では平成29年度も前年度に引き続き9割を超える高い評価を得ることができました。定期利用団体や大規模利用団体との意見交換会、また意見箱や口頭での意見等、日常的な意見収集を通じてニーズを把握し、利便性の向上に努めております。またトレーニングルームでは、覆面調査員によるサービス品質チェックを行うなど、多様な方法でニーズを把握し、業務改善に取り組んでおります。なお、利用者からの意見・要望につきましては、今年からそれらに対する回答と合わせて館内に掲示し、より一層のサービス向上に努めております。</p> <p>最後に「その他」ですが、東京武道館では、東京都施工の電気設備等の改修工事のため、昨年12月11日から今年の1月5日までの約1か月間全館休館いたしました。改修工事については早い段階から利用者への周知を進めると共に、工事期間中は東京都工事受託者と連携を密にし、休館明けの1月6日の大会開催にも影響することなく、改修を終えました。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
小室委員長	ありがとうございました。先生方、何かございましたら。
守泉委員	自主事業の利用者が減っているようなのですが、その辺のところをどうやって分析しているのかということと、2点目としては外国人の利用の点として、どのように捉えられていらっしゃるのかについてお伺いします。

発言者	内容
東京武道館 職員	<p>まず自主事業につきましてお答えいたします。例年、4割程度という参加率の低い事業がございます。そういった事業につきましては事業の見直しは当然ですけれども、例年、新たな広報展開という事で強化を行っております。具体的に申しますと、「女性のための護身術」というのがございまして、例年4割～5割の参加率になります。こちら平成28年度から29年度について若干参加率は下がりましたが、広報等行いまして今年度行いました自主事業、護身術につきましては4%程度参加率が上昇致した事業もございまして、引き続き広報等を行いまして参加率の向上を目指していきたいと思っております。</p>
東京武道館 職員	<p>外国人の利用状況ということで、利用状況としての数字は押さえていないのですが、利用としては2つあります。なぎなた等の大会に参加される方がいるのと、あとは見学に訪れる方です。そんなには多くないですが、見学者は武道館で月20名前後で、その3割～4割が外国人の方が見学に来られているということでございます。</p>
守泉委員	<p>ありがとうございます。</p>
小海委員	<p>スポーツ振興で、武道系部活動の合同稽古で参加者もトータルで1,000人程度が出ているのですが、そういうのは有料でやっているのか、それとも場所を貸しているということですか。</p>
東京武道館 職員	<p>武道系部活動の合同稽古で1,000名を超えている剣道については、有料の回と無料の回とそれぞれあります。どちらの回も多くの方に参加して頂いております。</p>
小海委員	<p>無料と有料の線引きはどのようなお考えですか。</p>
東京武道館 職員	<p>高体連、剣道専門部に授業の協力依頼を行っておりまして、そちらは講師の先生方に交代でお越しいただいております、そのまま参加料は無料で講師への謝金はこちらがお支払していないということで無料が実現しております。有料につきましては、外部から、例えば警視庁の有力選手ですとか、そういったところの先生を外部からお招きしておりますので、そういった回については有料で開催しております。</p>
小海委員	<p>ありがとうございました。</p>
丸山委員	<p>1点だけ。武道館ですので柔道、剣道、空手、なぎなたが中心となりますが、東京都のスポーツ実施率を向上させるために、武道以外のスポーツでも使えるのかどうか質問させていただきます。</p>

発言者	内容
東京武道館 職員	私共の一番大きな武道場で、大武道場があるのですが、その大武道場ですと武道の各種大会等で約49%です。大きい順からいくと、剣道、空手道、柔道等です。それ以外に主に平日になるのですが、学校の運動会、ママさんバレーの大会等で約51%お使いいただいています。そういう中で約80数%の稼働率となっています。
丸山委員	なるほどね、ありがとうございました。
小室委員長	スポーツ振興事業と自主事業の自己評価について伺いたいのですけど、その前に「体育の日記念事業」というのはスポーツ振興事業、という理解でよろしいですか。
東京武道館 職員	公募の時に、スポーツ振興事業と自主事業の他に、「体育の日記念事業をやりなさい」という条件になっておりますので、両方に属しません。
小室委員長	わかりました。スポーツ振興事業33事業と、自主事業40メニュー、それから体育の日記念事業ということで昨年比130%超というこの3つの事業について、この年は非常に頑張っで数量的に多くを達成したのかどうなのか、昨年度比で同じくらいなのか、そここのところを教えてくださいませんか。
東京武道館 職員	自主事業については、前年度は、有名選手・指導者ふれあい事業のみでした。工事休館にあたりましたため、通常ですと、将棋と囲碁の事業があるのですが、その分が丸々無いので、28年度は落ち込んでおります。体育の日記念事業につきましては、先程申しましたように事前のPR等が功を奏しまして、非常に多くの方にご来館いただいているんな各種スポーツを体験していただいたということでございます。
小室委員長	ありがとうございます。 では、以上でプレゼンテーションを終了いたします。ありがとうございました。

二次評価の審議【東京武道館】 13:20～

発言者	内容
織田課長	<p>それでは資料6、東京武道館、二次評価のところでございます。基本的な管理状況については適切及び適正に運営を行っているということです。利用者数の減少というところでご指摘を頂いているところもありますが、利用者アンケートによりますと9割以上が満足ということでございます。全体的な評価は各委員の皆様「A」ということを頂いております。</p>
小室委員長	<p>今回はスポーツ振興事業、自主事業、ともに「○」の評価になっていますが、</p>
織田課長	<p>際立ったところは無いのですが、合格水準の「A」ということで認定してございます。</p>
守泉委員	<p>足立区の綾瀬ですから、住んでいる人のことを考えると、やはりいろんなことを柔軟にみてあげた方がよいと思います。杓子定規では見ない。外国人に武道を見てもらうという場と考えた時に、この施設は結構近いところなのですよ。そういうところでも考えていただくと良いのかなと思います。</p> <p>それからTwitterをやる場合に、Twitterは自動的に月次データが取れるので、月次の状況を踏まえて把握してもらえると、どのくらい拡散しているのかが見えると思います。</p>
織田課長	<p>はい、「今後取組むべき点」のご指摘いただいたことは我々もフォローして参ります。</p>
小室委員長	<p>この「取組むべき点」の中に、外国人に広く武道を伝える施策等、外国人という言葉を入れてもらいたいですよね。</p>
織田課長	<p>はい。</p>
小室委員長	<p>今、ご指摘がありましたTwitterの月次状況の把握とかも入れて頂ければと思います。</p>
織田課長	<p>そのコメントを追記したもので最終版として皆さんに配りたいと思います。</p>
小室委員長	<p>では、「A」という評価で、ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京辰巳国際水泳場】13:23～

指定管理者：オーエンス・セントラル・都水協・事業団グループ

発言者	内容
小室委員長	ご準備宜しいでしょうか。ではお願いします。
東京辰巳国際水泳場職員	<p>それでは東京辰巳国際水泳場でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>まず全体の状況ですが、平成29年度は、東京都スポーツ事業団が新たに加わって4社体制になった指定管理者グループとして2年目の年にあたります。グループ内での緊密な連携・協力などによりまして運営における円滑さといったものも向上して参りました。各社それぞれの経験やノウハウ、強みを生かしつつ一体となって指定管理業務を行ってきたところでございます。</p> <p>それではお手元の資料に沿ってご説明を申し上げます。</p> <p>まず「適切な管理の履行」の「施設・設備の保守点検」についてでございます。施設・設備の老朽化対応と承認者教育を兼ねて、設備職員1名を増員配置して体制を手厚くしております。また基幹的な設備・機器、スターティングブロックなどの大会運営備品等について、広く老朽化対応の修繕を実施致しました。さらに追加の財源措置も行い、備品更新も積極的に実施し、利用環境の改善に努めてまいりました。</p> <p>次に「プール施設の管理」でございます。中央管理システムの中で行う水質、水温、室温等の常時監視の他、プールサイドに詰めているライフガードがプールの水を採取して、毎時水質チェックを行っております。このダブルチェックにより水質などの適正な利用環境の維持を図っております。毎年の利用者満足度調査におきましても、「水質は透明度が高い」など満足度が極めて高い水準に達しております。</p> <p>次に「人材育成の取組み」です。コンプライアンスや安全管理、環境への配慮、個人情報保護にかかわる研修を実施した他、研修専門機関から講師を招いて、特にハラスメント防止研修、接客研修を行いました。更に障がい者が快適に利用できる施設を目指しまして、専門家を招いてユニバーサルマナー検定などの障がい者対応研修も実施致しました。こうした取組みによりまして、利用者満足度調査におきましても、スタッフの接客対応についての満足度は極めて高い水準となっており、「満足」「まあ満足」を合わせまして95%以上に達しています。</p>

発言者	内容
東京辰巳国際水泳場職員	<p>次に「施設の提供について」ですが、当館の設置主旨・役割を踏まえまして、日本水泳連盟等の大会主催者と緊密な連携を図り、大会の招致を積極的に行ってまいりました。大会実施に関しましては、大会主催者に対し、その準備や円滑な運営に向けたサポートを積極的に行っております。その結果、主催者から大会運営がやり易いと高評を得ているところでございます。また平成24年度の指定管理者運営状況評価の中で今後取組むべきとされました、地域との連携に関しまして、当指定管理者グループ各社の支援によりまして、江東区立中学校連合水泳大会の誘致開催が、平成26年度から引き続き実現しております。更に、江東区民水泳大会も平成28年度に引き続き当館で実施開催することができました。</p> <p>次に「安全性の確保」のうち「防災への配慮」についてです。私共の危機管理マニュアルによりまして、事故や災害等ケース別の対応手順を明確にしております。また、消防計画に基づく年2回の自衛消防訓練、地元消防署主催の自衛消防技術審査会への毎年参加など、安全管理の意識や技術の向上を図っております。また帰宅困難者の一時滞在施設として自動販売機業者との覚書締結だけでなく、施設内のレストランとも協定を結びまして、独自に一時滞在者用の飲料を確保しております。</p> <p>次に「利用の状況」のうち、まず個人利用者数でございます。全指定管理者期間を通じて初めて平成27年度に4万人を超えましたが、平成29年度は、更に対前年度比6.5%増の42,974人の利用がございました。これまでで最多の利用者数となっております。今後も引き続き、映像によるワンポイントアドバイス等々、利用者向けのきめ細やかなサービスに取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>次に「団体利用稼働率」でございます。平成29年度は、平成28年度に比較しダイビングプールの稼働率は下がったものの、メイン・サブ両プールの利用率はそれぞれ0.4ポイント、1.1ポイントの微増となります。いずれも90%を超える稼働率を確保できています。また平成29年度も引き続き、ジャパンオープン、全国JOCジュニアオリンピックカップ、ジャパンパラ水泳、更にFINAワールドカップ2017等、代表的な大規模大会を含む各種大会、全部で85大会ございますけれども、これを当館で実施しています。</p>

発言者	内容
東京辰巳国際水泳場職員	<p>次に「事業の取組」の中の「スポーツ振興事業の実施状況」でございますが平成29年度も事業実施計画に基づきまして13事業を実施いたしました。前年に比較いたしまして若干ではございますが、参加率の向上が見られたところでございます。なかでも東京辰巳国際水泳場杯は、競泳競技部門では開館以来25回連続の開催となりました。水泳愛好者の誰もが参加できる大会として定着しております。表彰区分を年齢別に細分化などによりまして、参加者は280レースを実施して、延べ3,517名でございました。前年度は3,436人、若干増えておりまして多くの方々に楽しんで頂きました。</p> <p>次に「自主事業の実施状況」につきましてですが、幼児・児童などの子供世代を中心に7事業を展開しております。近隣の住宅開発に伴う人口増加等も背景に、子供水泳スクールが好評を得まして参加者が増加しています。実績はお手元の資料記載の通りでございますけれども、水泳の普及、振興等にも微力ながら貢献できたのではないかと考えております。</p> <p>次に「サービス向上に向けた取組み」でございます。元旦にプールを無料開放する「元旦初泳ぎ」は、水泳愛好者の間で定着し、平成29年度も前年と同様たくさんのスイマーに初泳ぎを楽しんで頂きました。ロビーフロアには新たにロビーチェアを置きまして、利用者が寛げるようなスペースを確保しまして、その他、ジャグジーには安全確保のための手すりを、トレイには鏡、あるいはベビーシートなどをそれぞれ要望を踏まえて設置を致しました。また冬季にはイルミネーションの点灯、季節の花や正月のおみくじなど、楽しく・気持ちよくご利用頂ける様工夫を凝らして様々な取組みを行っており、サービス向上に努めてまいりました。</p> <p>最後に「利用者ニーズの把握」でございます。利用者懇談会や意見箱によるご意見・要望の聴取・収集の他、利用者満足度調査による館の運営状況に対する満足度をお尋ねいたしまして、サービス向上への手がかりとしております。平成29年度の総合満足度は、「十分満足」「まあ満足」の合計が、個人・団体利用のいずれも9割を超え、引き続き高い評価を得ているものと思っております。また意見箱への投書については、投書の内容と当館の意見・対応をまとめたものを「私の一言」と名付け、誰でも閲覧できるよう公開しています。こうした取組みも含めて今後とも広く利用者の声をお聞きし、これを運営に生かして多くの方々に気持ち良く利用して頂けるよう努めていく所存でございます。</p> <p>以上で平成29年度管理運営状況の説明を終わります。</p>

発言者	内容
小室委員長	はい、ありがとうございました。では委員の先生方、意見をお願いいたします。
小海委員	<p>スポーツ振興事業の東京辰巳国際水泳場杯について、その参加者が3,517名というご報告があったのですが、別の資料をみていると定員1,800名となっています。定員1,800名に対して、3,500人、昨年度も3,400人くらい参加されている様です。逆に参加率の少なかったデータを見ると、シンクロと飛び込みが定員の890名に対して400名くらいとなっています。定員の考え方と参加者の考え方についてですが、3,500人の試合をするのだったら、定員は3,500人で良いのではないかと定員を3,500人にしない理由があるのか？逆にシンクロの方でも400人規模でやろうではないかという話にならないことに、何か理由があるのかとか、定員と参加率の考え方についてお話をください。</p>
東京辰巳国際水泳場職員	<p>大変極めて難しいご質問であります。従来からずっと25回目ということで、引き続き定員はこの程度、それから、所要時間とその体制を考えつつ決めて、募集をしているところではございます。競泳等に関しましては非常に参加者、申込者が非常に多いということでございまして、可能な限り出来る限り、その希望に応えようということで可能な範囲ぎりぎり100%では無く、200%の体制を組んでおります。</p> <p>参加者の方々にも夜、結構遅くなってしまう、帰りが遅くなってしまうことをご容赦いただいた上で、参加をしていただくということでの対応をしております。</p>
東京辰巳国際水泳場職員	<p>もう一つ、飛び込み、それからシンクロナイズドスイミング、4月からはアーティスティックスイミングになりましたけれども、これにつきましては、それだけの申し込みを受けるキャパシティがあるというようところで募集をさせていただいているところですが、残念ながらやはり飛び込みにしても、それからシンクロナイズドスイミングにしても底辺がなかなか広がっていかないという悩みがございます。関係の日本水泳連盟等、色々なところと相談をしつつ、定員を決めさせていただいているのですが、残念ながらキャパシティに対してそこまでの応募が得られなかったということで、これはある意味、課題でもございます。</p>

発言者	内容
小海委員	定員というのは競技運営の適正なタイムスケジュールとかも含めて考えられたところで1,800名というのが良いだろうというのが計画されたと思うのですがけれども、そこで倍の人数が来た、出来るから良いだろうと目一杯詰め込む形ということになると、やはり参加する方も慌ただしい感じがするようなイメージがします。例えば大会日程を増やすとか、そういった形もお考えなのかどうか、ということを含めて、また今後ご検討願えればと思います。
小室委員長	私から確認したいのですが、プール施設の設備職員についてなのですが、1名増員して9名体制として手厚い体制で業務を行っているということ、あと老朽化に伴う各種修繕を12月末に900万円くらい実施しているという状況なのですが、この1名増員で、プールの水質管理も含めて色々な設備関係の管理をやっているという理解でよろしいでしょうか。
東京辰巳国際水泳場職員	はい、その通りです。実際いま現在も9名という体制で行っておりますので、現状ローテーションという中で、それで管理をさせていただいております。
小室委員長	これは昨年、一昨年と同じように9名体制ということでしょうか。
東京辰巳国際水泳場職員	はい。
小室委員長	ありがとうございます。 水質の評価については、相変わらず高い評価を得ているという認識でよろしいでしょうか。
東京辰巳国際水泳場職員	はい。例年通り、評価の方は変わらない評価を頂いております。
東京辰巳国際水泳場職員	個別に申し上げますと、個人利用の場合が96%台、団体利用で91%台、それから事業関係の参加者によるアンケート調査で98%台の「満足」を頂いていることとなります。
丸山委員	昨年、施設を見学させて頂いて一番すごいなと思ったのは、水質だと思います。非常にきれいで衛生的で素晴らしい管理をされているなと思いました。今年は見せていただけていないのですが、これを見せていただくと昨年と同じようになっているということで結構だと思います。大変だと思いますけど頑張ってください。

発言者	内容
東京辰巳国際水泳場職員	ありがとうございます。
小室委員長	宜しいですか。はい、では以上を持ちまして、東京辰巳国際水泳場さんのプレゼンテーションを終わります。どうもありがとうございました。

二次評価の審議【東京辰巳国際水泳場】 13:41～

発言者	内容
織田課長	<p>二次評価のところでございますが、水質の維持等は高い水準で管理がなされているということ、利用者満足度が高いということ、稼働率も高い状況で実施しているというようなご指摘を頂いております。それで昨年、専門的な見地から、この水質の維持管理及び苦情対応等の部分を勘案して、「適切な管理履行」の中の「施設・設備の保守点検」「プール施設の管理」「利用状況」「苦情対応」、この4つについて「◎」の評価を頂いております。今年度も同じ評価であれば、4項目について「◎」になり、ポイントで言いますと「A+」となります。</p>
小室委員長	<p>水質の設備の点検の問題を今確認して、体制的にも1名増で昨年、一昨年も前と同様にやっているということなので「◎」かなと思います。あと苦情対応も前と同じようにやっているということなので、それも「◎」でよろしいかなと思いますが、いかがでしょうか。</p>
丸山委員	<p>はい、良いと思いますよ。私は他府県の同様の施設を見学する機会がありますが、この施設の水質素晴らしいですよ。それだけは他で真似出来ないくらい非常にきれいに、衛生的に管理されているので、私は「A+」で良いかなと思いました。</p>
織田課長	<p>宜しければ昨年と同様な項目についてのご指摘がございましたので「A+」ということでご確認いただいでよろしいでしょうか。</p>
全員	<p>はい。</p>
織田課長	<p>ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【駒沢オリンピック公園総合運動場】13:45～

指定管理者：公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

発言者	内容
小室委員長	ご準備宜しいでしょうか。では駒沢オリンピック公園総合運動場のプレゼンテーションを始めます。
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>駒沢オリンピック公園総合運動場の管理状況につきまして、ご説明申し上げます。</p> <p>まず「管理状況」の「適切な管理の履行」という項目のうち「施設・設備の保守点検」からご説明いたします。私共の施設は、オリンピックの時に建てられたものがほとんどでして、その後、何回か大規模な改修をしている施設でございますが、かなり全体的には老朽化していることから、東京都とも緊密な連携を取り、補修・修繕を実施して参りました。昨年度は、第二球技場などで（ここは人工芝でサッカー、ラグロス等に使用しておりますが）、かなり傷むことがしばしばございますので、その修繕を実施したり、競技用の備品につきましても不具合がございますので、バスケットゴールの修繕や体育館の空調設備のオーバーホールなど、様々な面で対応してまいりました。</p> <p>それから「施設の提供」でございますが、私共はかなり大規模な競技大会が入っております。優先受付を実施したり、また様々なスポーツ団体にも働きかけを行うなどして、多様な大規模大会を実施して参りました。昨年度は、高円宮杯フェンシングワールドカップ、バスケットやバドミントンの選手権大会、また、次のオリンピックの競技種目のボルダリングジャパンカップ競技大会が実施されております。</p> <p>それから「安全性の確保」でございますけれども、「施設の設備の安全性の確保」ということで、これは毎年度実施していますが、安全点検パトロールを月1回、委託業者や公園協会とも合同で実施しております。職員およびスタッフの目で、施設設備の危険箇所を予測・発見するということで対応しております。発見したことにつきましては、緊急対応、あるいは予算要求が必要な場合にはそのように対応しております。また、関係団体で連絡調整会議を月1回実施致しまして、一体的管理を確保しているところでございます。最近、体育館の床では、ささくれが起こるということで注意喚起がございます。これが起きないように日々の床のチェックを行っております。体育館の床をチェックし、昨年度は体育館の床面を油性塗料により塗りなおしを行いました。これにより保全措置を実施しているということでございます。</p>

発言者	内容
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>それから昨年度水害がございまして、水が球技場の方に入ってきて床が濡れたということがございました。その後の対策としまして、私共で防潮板を購入し設置しております。その後、東京都の方で、もう少ししっかり防潮板を設置して頂いたことで万全な体制になっています。</p> <p>それから「防災への配慮・緊急時対策」でございます。最近、防災・テロということで、大規模な防災訓練が消防庁あるいは警察等で行われております。私共はこれを受け入れまして、昨年度は消防庁の方面本部で、テロを想定した訓練が行われました。この訓練には私共も参加させていただきまして、公園管理者は避難誘導訓練に参加致しました。また、AEDを全施設に配備しており、全職員が「普通救急救命講習」を受講しています。自動販売機の災害時における無料提供、都から支給される帰宅困難者用の備蓄品の保管も実施しています。それから私共の独自の事業として、3月に「防災フェスタin駒沢」を実施しております。これは地元の警察・消防・自衛隊・区役所の協力を得まして、防災に対する知識を普及しようということで、来訪された住民の方々に普及活動を行ったものです。</p> <p>次に「事業効果」でございます。「利用の状況」でご紹介したいのが、トレーニングルームでございます。これは毎年個人の利用者数が増えておりまして、去年は過去最高の利用者数を達成いたしました。これは昨年度当初にトレーニング機器をリニューアルしたということもありまして、非常に高く評価されております。それから施設稼働率でございますけれども、主な施設の平均の稼働率が97.7%ということで高い稼働率を継続しています。</p> <p>それから「事業の取組み」ということでご紹介いたします。「スポーツ振興事業、自主事業」でございますけれども、駒沢ジュニアサッカースクールなど振興事業16事業、それからジュニアベースボール大会など自主事業18事業、全体で34事業を計画通り実施致しました。体育の日記念行事ではサーフィン、ボルダリングなどオリンピック種目を中心としまして東京2020大会の気運を醸成したというものでございます。</p> <p>「サービスの向上」については、年末年始で休館ではありますが、大会主催者からの要望もあり、全国高等学校サッカー選手権大会、バスケットのBリーグも実施しています。また、トレーニングルームの時間延長も継続しております。また、屋内と第一球技場のオープニングイベントを実施しまして、多数のメディアに取り上げてもらい、スポーツ施設のPRを行っております。</p>

発言者	内容
<p>駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員</p>	<p>「利用者ニーズ」につきましては、毎年利用者満足度調査を、団体につきましては利用者懇談会を実施しておりまして、色んな要望を把握しています。またアンケートを取りまして、ご意見がある場合には利用者の意見を収集しているということでございます。</p> <p>次に「その他公園との連携」でございます。スポーツ博覧会、ランニングの事業である6時間耐久レースについては、中央広場などを使いまして、公園施設と一体となったイベントを実施して、公園協会とも連携を図っております。それから、公園連絡調整の担当を設置しており、連携を強化しています。また、屋内球技場の再開に向けてですが、現場の目で見ますと、例えば観客席にボールが飛んでくるというようなことがありましたため、防球・防矢ネットを設置するなどの対策を講じました。さらに、車椅子の方が観覧しにくいということで改造を実施致しました。</p> <p>最後に、平成29年度から硬式野球場の改修工事が始まっておりまして、競技団体からの意見を集約し、都との調整を実施するなどの取組みも行っています。説明につきましては以上です。よろしくお願いいたします。</p>
<p>小室委員長</p>	<p>ありがとうございました。では先生方、ご意見をよろしくお願いいたします。</p>
<p>守泉委員</p>	<p>2点あります。1点目は東京マラソン祭りの支援事業は、マラソンの為の練習として使う人は多いかもしれないですけど、前の時も33人と非常に少なかったもので、ニーズがそもそも無いのでは？と思うんですけど、その点はいかがでしょうか。2点目で路上生活者の新規抑制について、「新規」と書いてあるのは今まで居なかった、それが突然現れたということなのか、それとも今まで放置していたのをオリンピックが近いから一斉にやろうということでやったのか、という点を聞かせてください。</p>

発言者	内容
駒沢オリン ピック公園 総合運動場 職員	<p>今2点のご質問に対してお答えいたします。まず東京マラソン祭りの支援事業、33人で確かに少ないという点がございますけれども、この主旨と申しますのは東京マラソンに対しましてランナーを支援しようという主旨で私共こういったことを行っております。実際に、マラソン祭りのパンフレットにこの広報がありまして、スペシャルパスポートという欄がありまして、様々な博物館や美術館の無料・割引の券があります。その中に一つとして、私共の施設にいられた場合には、トラックは無料で利用出来るというサービスを行っているものです。私共と致しましては、ランナーを支援するため、また、支援をするということで施設を有効活用しようという発想で設けたものでございます。今、委員のご指摘の通り、確かに少ないというところはございますので、今後はパンフレットに頼っているところがありますので、もう少し私共のホームページ等で、広報の努力をしなければいけないと考えており、そのように対応させていただきたいと思っております。</p> <p>それから路上生活者につきましては、実は駒沢公園、4、5年前までは7、8人くらいの路上生活者がおりました。それで、2年ほど前に建設局と公園協会が協力しまして、その後のちょうど彼らの居住されている地域でレストランを開設するという動きがございまして、合わせてご理解いただいて、円満に退去いただき、彼らの居場所の方も確保しておるといようなことが行われました。それ以降も公園の適正な利用という観点から、私共と公園協会が協力しまして、警備を中心にパトロールをして、新たな居住者が生まれないようにしているということで、今は誰も居ませんということで、ここに記載したという主旨でございます。</p>
守泉委員	分かりました、ありがとうございます。
丸山委員	<p>まず陸上競技場の芝生の管理がものすごく良く出来ていて、素晴らしいです。気が付かなかったことが一つあるのですが、雨天の時に使ったことが無いというのもあって、雨漏りがするとか、それから水が出てきちゃうというのが想像できなかったんですけども、それを皆さん方で処置をされていると伺ってびっくりしたんですけども。そんな酷いのですか、雨漏りとか。</p>

発言者	内容
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>原因としましては、長らく老朽化によってですね、例えばコンクリートは油性ですけれども隙間だとか、そういったところからどうも水がどんどん入ってきて、それが広がってくるということで、その下にあります天井が腐ってきたり、ボードで出来ている部分もありますので、そういった石膏ボードが腐ってきて雨漏りがするという、一部危険な、安全な部分ではあったのですが、天井のボードが一部落ちてきたということがございます。したがって、そういうかなりの老朽化が原因でございますので、私共も原因とか場所をあらかじめ掴むというのは難しいのですが、私共の職員や委託のスタッフが色々なところを見回って、目視でございますけれども、それで監視して大きな事故を防止しているというようなことがございます。かなり広いところでございますので、かなり大規模な改修をやらないと掴み難いということがございますが、その辺は引き続き、出来る限りのことはやっていきたいと思っております。</p>
丸山委員	お疲れさまです、そうですか。
小海委員	<p>頂いている資料の中で、自主事業の昨年度、一昨年度ですか、28年度に18事業をやって68,000人くらいの参加者があって、29年度は1個減って17事業で16,000人という数字が出ているのですが、この大きな差が見えないのですが、どのようなことでしょうか。</p>
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>大きな原因は、先程申しました、昨年度に屋内球技場・第一球技場の改築に伴いまして、新しい施設のオープニングイベントを行いました。その時の参加者数が一般の方にも参加いただいておりますので、その辺の数字が関係しているかと思えます。</p>
小海委員	<p>でも逆です。オープニングイベントが29年度ですよ。28年度が68,000人です。この凄い数字がいきなり50,000人ほど減っているのですが、数字の間違いですかね。</p>
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>すみません。ちょっと調べます。</p> <p>例年やっている、昨年度も実施しました、体育の日記念事業につきまして、この事業の枠から外させていただいております、10月の体育の日にやっているイベント、これが大体50,000人くらいいらっしゃいますので、そこから外させていただいた関係で減少となっております。</p>
小海委員	分かりました、ありがとうございました。

発言者	内容
小室委員長	<p>いくつか確認させて欲しいのですが、施設の安全性の確保、施設というか管理状況の安全性の確保で、「床のささくれ事故防止に向けて、日々の床チェック並びに・・・」と説明でもあったかと思うんですけど、確かNPCでも、ささくれによる床でバレーボールのプレイをしていた方が事故に遭われたということもあり、この「ささくれ対策」っていうのを、どのようにやっておられるのかということ詳しくお聞きしたいということです。あと自主事業のトレーニングルームというのは、事業の種類としては、自主事業なのでしょうか。</p>
駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員	<p>はい。トレーニングルームにつきましては事業という位置付けではなく、施設の提供ということです。</p>
小室委員長	<p>施設の提供ですか。これ28年度、29年度と20,000人くらい人が増えて、利用者数が伸びていますよね。これは何かすごく努力をされて伸ばしたのか、それについてのコメントもお願いいたします。</p>
駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員	<p>床につきましては、体育館の方につきましては、こちらの方が古いのですが、油性塗料を塗ることによってかなり「ささくれ」で浮き上がってくるのを防止しているかなと思います。それから屋内体育館につきましては、新しい施設でございますけれども、昨年度はありました。新しい体育館の床というのは最初、膨張したり縮んだりするそうです。他の体育館でも類似のところを聞きましたけれども、その辺の膨張のところをよく見ることとか、また浮き上がるということもありますので、そういったことが無いかどうか、あれば削るといようなことが考えられます。なかなか目視では見るのが難しいというようなことは専門業者からも聞いておりますけれども、出来るだけ目立つところは見つけるということで、日々、開始前に見るといこと、観察をするといことを行っております。</p> <p>それからトレーニングルームにつきましては、機器のリニューアルが大きいのですが、前年度なども大幅にレイアウトを変えております。ランニングの機器やストレッチの部分も大幅にレイアウトを全体的に変えまして、人の流れが交差しないように、近くならないようにして分散できるような設計にしたといのが結構大きいです。それによりまして、これだけ大きくなりますと大体混雑しているといこと、逆に苦情が出るのですが、そういう苦情が非常に少ないです。</p>

発言者	内容
駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員	<p>また、値段が比較的安いということもあります。1回毎の支払であり、月毎の支払ではございませんので、その辺も合わせて利用者率が上がっているのかなと思います。アンケート調査を見ますと、ほとんどが世田谷区と目黒区という、地元の方がほとんどの利用者の背景でございます。その辺も合わせまして、魅力ある施設になってきているのかなと考えているところでございます。</p>
小室委員長	<p>体育の日記念行事で、オリンピック新種目の体験など東京2020大会の気運醸成にご貢献いただきまして大変ありがとうございます。お礼申し上げます。</p> <p>では以上を持ちましてプレゼンテーションを終わります。ありがとうございました。</p>

二次評価の審議【駒沢オリンピック公園総合運動場】 14:07～

発言者	内容
織田課長	<p>駒沢については非常に大きな施設で複数の施設がございます。多様な利用状況及び多くの利用者に対して、トラブルの丁寧な対応、総じて良好な管理と評価されています。適正な管理というところに加えて、長年の指定管理の経験に基づいて利用調整も適切に実施しているということ、そして東京オリンピックのレガシーとしてミュージアム等もございますが、この施設全体としてレガシーとしての役割を十分に果たしているというご指摘をいただいております。</p> <p>利用実績として昨年度ですね、個人利用が昨年度を上回り、団体稼働率も高い水準で維持しているというところでございますが、新たにオープンいたしました屋内球技場と第一球技場の稼働率はまだ低い、今後伸ばせるというご指摘を頂いております。利用者アンケート実施結果については9割以上「満足」ということで、サービス水準についても高いというご指摘をいただいております。こちらでご意見・ご質問はございますか。</p>
小室委員長	<p>先程の水害の対応とささくれ対策ですね、あと話にありましたトレーニングルームの工夫によって、前年度比で20,000人プラスというのは、結構大きなアップではないかと思うので、こちら辺は評価してあげても良いのではないかと思ったのですが、いかがでございましょうか。</p>
守泉委員	<p>一次評価で、これを見ていると、結構いろんなところで頑張っている感じなのに、元のベースがこうタイトなのかなというところがあったので、そのあたりを評価するのが良いのかなって思いますよ。</p>
小室委員長	<p>「施設・設備の安全性の確保」、例えばささくれ対策、水害は17-(3)の「緊急時対策」、それからトレーニングルームの対応については「利用の状況」ですよ。ここを評価する場合はどのようになりますか。</p>
織田課長	<p>二次評価としては「A+」になります。</p>
小室委員長	<p>いかがでしょうか。</p>
丸山委員	<p>水の話は、今まで全然わからなかったのですよ。相当苦労なさって適切に処置をなさっているってことで、私は本当に評価できると思っております。</p>
織田課長	<p>そうしますと、二次評価として「A+」ということよろしいでしょうか。</p>
小室委員長	<p>はい。「A+」でお願いします。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【有明テニスの森公園テニス施設】14:20～

指定管理者：有明テニス・マネジメントチーム

発言者	内容
小室委員長	<p>ご準備宜しいでしょうか。では有明テニス・マネジメントチームのプレゼンテーション、よろしくお願いいたします。</p>
有明テニスの森公園テニス施設職員	<p>初めに施設の概要ですが、有明テニスの森公園は屋外テニスコート48面エリア、有明コロシウムエリア、緑地エリアと特徴の異なる3つのエリアを我々指定管理者が一体的に管理運営を行っております。昨年度の大きな動きとしましては、東京2020大会へ向けた大規模改修工事が11月からスタートしました。これに伴い屋外テニスコート48面の内、40面の営業を10月末で終了し、8面のみ今年の9月まで営業を継続しております。またコロシウムにおきましても昨年12月中旬で営業を一旦終了し、現在全面改修工事を行っているところです。</p> <p>それでは29年度の管理運営状況を資料に沿ってご説明いたします。</p> <p>「適切な管理の履行」の「設備施設の保守点検」ですが、当公園は開設から30年以上経過しており、設備の老朽化による不具合を未然に防ぐため、例えば給排水ポンプ類の保守点検など、東京都の仕様を超える点検回数を実施し、大きな不具合もなく、適切な設備管理を行いました。また11月からの改修工事に向けて、以降の点検内容、実施回数を見直し、契約変更を行うなど適正な執行に努めてまいりました。</p> <p>次に「施設の清掃」につきまして、こちらも東京都の仕様を超える回数を設定し計画通り実施致しました。例えば日常清掃、都の仕様では週3回のところを毎日実施するとともに、害虫・ネズミ生息調査を年6回のところを毎月実施するなど美観や衛生面の向上に努めてまいりました。また近隣の中高生85名や、企業2団体32名と協働で清掃活動を行い、環境美化に対する意識啓発にも取り組んで参りました。</p>

発言者	内容
<p>有明テニスの森公園 テニス施設 職員</p>	<p>次に、「施設の運営にかかわる人員配置」につきましては、常勤スタッフ9名を配置し、計画通り適正な人員配置を行いました。</p> <p>次に「施設の提供」につきまして、楽天ジャパンオープン、東レパンパシフィックオープンなど国際大会を含む年間218大会の調整を行い、内103大会に関して、適正に減免措置を行いました。大会運営を積極的に行うことで大きな問題もなく実施することができ来ました。この他公園を訪れた方が憩い、散策できる場所として、緑地の美観や安全対策向上のため、芝刈りを都の仕様では年4回のところを年6回行い、計画通り実施しました。</p> <p>次に「法令等の遵守」について、情報事故を防止するための取組みですが、疑似ウイルスを添付した標的型メールを全社員宛てに送付する模擬訓練、それに加えてセキュリティ担当部署による社内全端末の全数調査、eラーニングによる「セキュリティ研修」を実施し、情報漏えい等へのスタッフの意識向上を図ってまいりました。</p> <p>次に「安全性の確保」につきまして、「防災への配慮」として消防法で定められております、自衛消防訓練や大地震発生時の来園者への避難誘導訓練を実施致しました。その他、安否確認システムにより、「社員の安否、被災状況について携帯電話から自動収集する訓練」や、「帰宅困難者受け入れに対する伝達訓練」を実施し、スタッフの対応能力の向上を図ってまいりました。また、施設の安全確保の為、巡回や点検で発見した施設の不具合については、年間84件の対応を行いました。即時修繕を励行するとともに、処理に時間を要するものにつきましては、お客様に対して工期や措置の見える化を図ることで、お客様の信頼確保に努めてまいりました。</p> <p>次に「適切な財務管理」の「収支状況」ですが、昨年度の利用料収入は計画額に対して3500万円、18%を上回る収入を確保いたしました。支出につきましては、国際大会主催者から屋外コートサーフェス11面の塗り替え要望がございましたが、改修工事を目前に控えていたため、第三者委託として主催者側で必要な工事を実施するよう調整を行い、経費節減を図りました。また改修工事に向けて、執行を見込んでいなかった撤去工事等、執行額約1,000万円について東京都からの指示により協力・実施致しました。</p> <p>次に「物品の管理」ですが、改修工事に向けた什器、備品等の整理・処分に年度当初から取り組みました。廃棄処分量が117トンに及びましたが、計画的かつ着実に取り組んだことで、改修工事を予定通り開始することに寄与できたと思っております。</p>

発言者	内容
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	<p>次に「利用状況」についてです。利用者数ですが、全体で493,523人の利用がありました。改修工事に伴う休館により、前年度比で180,197人・27%の大幅な減となりました。屋外テニスコートは改修工事のため、11月以降、48面の内40面が営業休止となり、年間で97,980人の減となりましたが、営業を継続した11月以降、8面換算で前年対比した結果、13,157人、70%増となり、限られた施設を効率的に稼働することができました。またコロシアムにつきましては、改修工事のため、12月中旬で休館となり、年間では82,217人の減となりました。国際テニス大会のほか、ボクシング世界戦等を開催し、稼働9ヶ月で前年対比した結果、5,189人、2%の増となり、前年と同水準の稼働実績を残すことができました。</p> <p>次に「事業の取組」についてご報告いたします。スポーツ振興事業として、有明の森スポーツフェスタは、テニストーナメントのほか、様々なスポーツを体験ができるイベントとして、昨年度まで7年間継続実施しております。来場者数9,600人、延べ参加者数21,930人となり、多くの方に参加いただくことができました。キッズ&ジュニアテニスカーニバルにつきましては、テニス人口の底辺拡大のため、体育の日記念イベントとして、園児から中学生までを対象に開催し、定員に対して119%、295人の参加となりました。</p> <p>次に「サービス向上に向けた提案の実施状況」です。テニススクール事業は、年間計画10,000人に対して13,432人の利用がありました。テニス人口の底辺拡大、生涯スポーツとしてテニスの普及に貢献しております。早朝テニスは休日の朝、7時～9時までの時間帯に実施致しました。改修工事に伴う駐車場休止により、10月までの実施となりましたが、利用人数は11,385人、前年同期比で1,889人、20%増となり、利用者ニーズに応え利用拡大を図ることができました。次に世界を目指す高校生以上のプレイヤーのための国際大会として、有明国際オープンを開催し、計画112名に対し241名の参加がありました。賞金総額を増額し、レベルアップと競技者人口拡大を図っております。その他、生涯スポーツとしてのテニスの普及促進を目的に、1dayレディーストーナメント、ソーシャルテニス大会を開催。また車椅子テニスジュニア強化教室を5回開催し、初級障がい者スポーツ指導員を指定管理者からも配置し、車椅子テニスプレイヤーの競技力向上に寄与致しました。</p>

発言者	内容
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	「その他大規模工事への対応」についてですが、改修工事に伴う施設休止につきましては、前年度末から施設での事前周知や利用者説明会を開催することにより、利用者に混乱をきたすこと無く対応することができました。こうした昨年度の取組みに引き続き、今年度もテニスコート8面の営業を9月末まで行いながら、改修工事への協力や来年度の再開に向けた準備などを東京都事業に積極的に取り組んで参ります。 以上です。
小室委員長	では、先生方お願いします。
小海委員	収支の状況で話のあった、国際大会主催者からのコートの改修について、「第三者委託として主催者側で必要な工事を実施するよう調整を行い」というのは具体的にどのような感じですか。
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	具体的には、Aコートサーフェスを国際大会ということで、サーフェスを復旧しました。屋外コートのAコートになります11面を、表面の塗装を塗り直してもらいたいというご要望がございました。ただ改修工事目前ということで、1,000万円以上かかるような工事の規模ですので、調整をした結果、指定管理者側ではなく主催者側で実施することで調整いたしました。
丸山委員	1点だけ。テニスの専門施設なのですが、いわゆるテニス型のミニテニスと言われる、ここにあるパドルテニスってあるのですが、パドルテニスっていうのは中野区あたりを中心に、各地で行っています。都内には、他にも立川のミニテニス、八王子市のネオテニス、小平市が中心のバウンドテニス等があります。そういったいわゆるミニテニスとされているような種目も利用できるということなのですか。
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	普段はそういった施設が無いので、利用できません。例えば有明の森スポーツフェスタであるとか、あるいはキッズを対象にした教室の方で、何回か企画しておりますので、テニス事業協会、指定管理者のパートナーであるテニス事業協会が、そういった方に力を入れておりますので、機会をみて出来る限り実施しております。
丸山委員	そうですね、分かりました。
小室委員長	伺いたいのですが、法令等の遵守のところで情報セキュリティ基本方針に基づいて内部監査を実施しているという記述があるのですけれども、これほどどのように実施しているのか詳しく教えていただけますか。

発言者	内容
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	分かりました。弊社の総務部にそういった情報セキュリティ専門部署がおりまして、その社員が自らですね、だいたい2名～3名体制で、全社員のパソコンを直接、インターネットのアクセス状況であったりとか、メールの管理状況であったりとかそういったものを実際それぞれのパソコンで確認をしまして、不正な、今後会社として規定に抵触するような扱いを行っていないかということ、きちんと時間を取って毎年行っているということでございます。
小室委員長	毎年行っているというのは、御社のあらゆる事業所について年1回、そのようになさっているということでしょうか。
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	はい。すべての事業所で弊社の社員が約190人くらいおりますけど、全社員を対象に実施しております。
小室委員長	では以上を持ちまして、プレゼンテーションを終了いたします。 どうありがとうございました。

二次評価の審議【有明テニスの森公園テニス施設】 14:35～

発言者	内容
織田課長	有明につきましては、定期保守整備、日常清掃、定期清掃などテニスコートだけでなく、敷地内の公園部分も含めて全て管理をしております。良好な管理を行っているという評価も頂いておりますし、利用者促進への取組みにも積極的であるのご意見を頂いております。全般的に適正な管理を行っているということで、評価「A」とされております。特にご意見がございませんでしたら、「A」評価でご確認いただければと思います。
小室委員長	個人情報の内部監査を社内で年に1回やっているという点については、いかがですか？
守泉委員	人がやるというのも悪くはないのですが、ソフトウェアを入れて、常時監視が出来るので、そのような常時監視のソフトウェアを入れたやったほうが良いと思います。
小室委員長	なるほど。
丸山委員	「A」が妥当だと思います。
小室委員長	ありがとうございました。

指定管理者によるプレゼン、質疑【若洲海浜公園ヨット訓練所】14:43～

指定管理者：若洲シーサイドパークグループ

発言者	内容
小室委員長	<p>ご準備宜しいでしょうか。では若洲海浜公園ヨット訓練所、若洲シーサイドパークグループのプレゼンテーション、よろしくお願いいたします。</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>これからお手元の資料に沿ってご説明させていただきます。</p> <p>まず初めに「適切な管理の履行」ということで、施設等の点検については、日々の日常巡回点検を着実に実施し、不具合個所の早期発見と迅速な対応を通じて、利用者の安全・安心を確保しました。不具合対応件数ですが、57件中48件は直営で修理を行いました。あとは委託等にお任せしております。施設補修では、お客様の安心安全を第一に、ヨット及び関連設備（ヨット運搬用ホイールローダ）修理、ヨット昇降用スロープの清掃作業等を適切に実施しました。</p> <p>また、施設の景観維持のため、高所作業車を用いての枯枝撤去・剪定・実生木の伐採についても適宜行いました。施設設備の老朽化が進む中、予算の効率的な執行を図り、緊急補修やより多くの不具合に対応できるよう、日々のヨットの小規模な修理やメンテナンス、樹木管理やスロープ清掃等については、スタッフ直営による作業を実施しました。美観向上や安全対策向上のため、東京都の仕様を上回る緑地の維持管理を計画どおり実施しました。緑地維持管理について、芝生地・植え込み地・園地の芝刈りが東京都仕様で年4回ですが、私共では5回やっております。</p> <p>「安全性の確保」に向けた事故防止の対応についてです。これは当教室の運営にあたって当社が最も重視する点です。平成29年度における取組と致しましては、本年度も様々な安全対策を継続的に実施し、年間を通じて無事故を実現しました。ヨット教室の安全・安心確保に向けた取り組みとして、経験豊富なインストラクターの配置(日本セーリング連盟認定・バッジテスト中級以上の者)や、教室開催前のインストラクター全員でのミーティングによる情報共有の徹底を行っています。ミーティングでは、当日の教室スケジュール・参加者のレベル・当日の気象及び海象情報等の確認などを行っています。教室開催中の無線による状況確認及び情報交換、リアルタイムでの気象・海象チェック、監視カメラによるヨットの動向及び周辺海域の監視、受講者数に応じたレスキューボートの配置、教室で使用する艇の事前・事後点検の徹底も実施しています。</p>

発言者	内容
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>次に、「災害時における安全性の確保にむけた取り組み」として、地震等の大規模災害への適切な対応に向け、現場独自の防災訓練のほか、東京都の一時滞在施設としての訓練や本社と連携した情報伝達訓練など、実践的な防災訓練の実施を通じて災害時における危機管理能力の向上を図りました。平成30年2月27日、若狭地区の総合防災訓練を行いました。同日に、一時滞在施設としての受入訓練も行っております。2月28日には、本社を含めた会社全体での防災訓練も行っております。</p> <p>次に「利用者の満足度」についてです。利用者向けアンケートでの結果、主要項目で「大変良い」もしくは「良い」とお答えいただいたお客様の割合が、いずれも9割を超え、教室運営についての高い評価をいただきました。「大変良い」もしくは「良い」の回答割合は、施設の総合満足度93%、受付窓口の対応が93%、ヨット教室の内容が95%、インストラクターの対応が95%になっております。</p> <p>次に「スポーツ振興事業」であります。スポーツ振興事業では、計画に基づき、セーリング普及に向けた若洲ヨット祭りや、障がい者の体験乗船会、ジュニア育成に向けたマンスリーレガッタ等の事業を実施しました。障がい者体験乗船会の開催にあたっては、参加者の安全面を最優先に考え、例年の11月からより季候の良い9月に日程を変更して開催するなど、きめ細やかな調整を行いました。新たな取り組みとして、今後の障がい者体験乗船会の開催回数増や、将来的な障がい者教室の開催を視野に、秋のヨット体験乗船会で、障がい者の積極的な受け入れも行いました。障がい者体験乗船会の参加者数は12名、スタッフ36名、計48名でした。こちらは車いすや肢体不自由者が参加したイベントです。ヨット体験乗船会の障がい者参加者数が6名、スタッフ12名、計18名でした。こちらは目の不自由な方が主に参加した大会です。</p> <p>次に「自主事業」への取り組みについてです。本年度の計画に基づき、ヨット体験乗船会、TOKYO JUNIOR YOUTH、高等学校支援事業等の普及啓発、及び育成事業を行いました。運営にあたっては、年間を通じて経験豊富なスタッフによる育成を行っており、本年度もこの育成事業から、多くの生徒が国内外の選手権等へ出場しております。入賞実績といたしまして、国際親善ヨットレースでは25名参加し、チーム戦にて2団体優勝しております。愛媛国体には20名参加し、2位が2名、入賞5名となっています。高校選手権大会は、16名参加し、2位が2名となっています。全日本OP級ヨットレースでは15名参加し、入賞が3名となっております。</p>

発言者	内容
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>本年度の新たな取り組みである不登校児童セーリング支援事業や、学校プールでのヨット体験乗船を中心とした出前事業を実施し、施設の有効活用を図るとともに、施設の更なるPRとセーリングの普及を推進しました。不登校児セーリング事業としまして、7月・9月実施で39名が参加しております。ヨット出前授業というのは、7月～8月で3回実施しまして、参加数が60名となっています。</p> <p>以上の通り、平成29年度の事業運営にあたり、若洲シーサイドパークグループでは、ヨット教室運営にあたっては利用者に安全・安心で質の高いサービスを行うと共に、スポーツ振興や育成事業においても、障がい者向けのプログラムや若手の競技力向上への取り組みを積極的に実施し、ヨット訓練所の魅力と価値の向上を図ってまいりました。今後も引き続き、施設の魅力向上に向けた取り組みを継続してきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で、平成29年度若洲ヨット訓練所の説明を終わります。ありがとうございました。</p>
小室委員長	ありがとうございました。先生方、よろしくお願いいたします。
小海委員	スポーツ振興事業の、障がい者体験乗船会についてお聞きします。一昨年は定員10名で18名の参加という形ですが、昨年も定員10名で48名の参加となっています。これはスタッフを含めての参加者数ですか？
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	スタッフを含めてです。実際は12名です。
小海委員	想定されている定員というのは障がい者の方の定員ですか。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	はい、そうですね。
小海委員	昨年の18名というのも、スタッフを含めてですか？
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	一昨年は、いろいろ他の団体からも引き合いがありまして、かなり人数が多くなりました。
小海委員	ではこの辺は、もう少し増やしていくことについては、どうお考えなのかということをお聞きしたいのですが。

発言者	内容
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>そういったニーズが増えて参りまして、平成30年度は年間で3回、既に6月に1回実施しまして、9月の上旬と下旬に2回やります。3回が今までで一番多くなりまして、将来的には、やはり障がい者のヨット教室を開催しようという大きな目標がございますので、その準備段階、トレーニングの段階というふうにお考え頂ければいいと思います。</p>
小海委員	<p>このところずっと暑いですが、暑さ対策については、どうなされているのでしょうか。</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>レスキューボートというのが2隻ほどついておりまして、そこには全部クーラーボックスに水などを入れてあります。時間を計り定期的に休憩を取り、水分をお客様あるいは生徒にとっていただくという対策をしております。</p>
小海委員	<p>はい、ありがとうございました。</p>
丸山委員	<p>1点だけ、お伺いさせていただきます。今年度の新たな取り組みとして、不登校児のセーリング支援事業っていうのをおやりになったそうなのですが、一般的に不登校児がこういうのに参加すると変わるっていうのですよ。その後について伺ってないですか？それと、どんな状況だったのでしょうか？</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>20名近い生徒さんが来られまして、転覆するようなヨットは危ないので、障がい者の方に使っていただける安全なヨットで講習をしました。その後すぐに学校復帰という訳にはいきませんが、長い取り組みの中で、少しでも学校復帰が出来れば良いなということで、取組んでございます。</p>
丸山委員	<p>当日の様子はどうだったのですか。</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>まったく普通のお子さんと変わりなかったです。先生に聞くと、いろいろ段階があるということですが、ここに来ている生徒は、かなり一般に馴染む生徒ということでした。もっと引きこもりのような子供もいるようなのですが、そのような子供は、まだ若洲に来られる状況ではないということでした。</p>
丸山委員	<p>ありがとうございました。</p>
守泉委員	<p>引きこもっている子供がこういうことで興味を持って出てきてくれることがあるだけでも、それだけでも物凄い成果ですよ。</p> <p>1点だけですが、帰宅困難者の訓練についての通信方法についてですが、震災時などは、まず携帯電話が全然使えなくなるので、最終的に使える衛星回線を使うか、最近ではポケベル回線を使うことが少し流行り出しているのですけれども、その辺の対応は何かされていますか。</p>

発言者	内容
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	そうですね、帰宅困難者の訓練につきましては、東京都とMCA無線、あとは緊急電話の方の訓練で対応しているところです。
守泉委員	現実には、それすらもダメな場合もあります。最近、ポケベル回線を使うというのは、比較的安くできるし、流行り始めているので、現実的には有効だなどと思います。ちょっと検討してみてください。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	ありがとうございます。
小室委員長	緑地の管理のことについて伺いたいのですが、東京都の仕様回数を上回る実施回数って表記がありますが、これはこの年だけのことか、従来、毎年この位やっていたらっしゃるのか、どうなのでしょう。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	毎年やっております、はい。
小室委員長	仕様回数を上回る実施回数を、毎年実践なさっているというのは、意図として最初から仕様回数には盛り込まない意図がおありになるのか、それともだいたい4回というのは標準的なもので、何かそれを上回る、その年々に起きている事情によるものなのか、その辺はどういうことでしょうか。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	4回だと足りないのです。今の季節、ひと月で芝生が2cm、3cm伸びてしまっているんで、本当は5回でも足りないくらいです。あとは私たちの方で出来るところはやっております。
小室委員長	はい、なるほど。 よろしいですか。では以上を持ちましてヒアリングを終わります。どうもありがとうございました。

二次評価の審議【若洲海浜公園ヨット訓練所】 15:01～

発言者	内容
織田課長	<p>若洲海浜公園ヨット訓練所ですが、設備も古く地盤沈下なども起きており、課題もありますが、それを指定管理者が補いながら、ヨット教室なども行っているというところでございます。自主事業についても2団体とだけやっていてあまり独自でやっていくというよりは、ニーズに応じて実施しているというのが、非常に難しいところです。とは言っても、海では安全管理が必要な中、しっかりやって頂いているということで、昨年と同様に「A」評価ということで皆様から頂いておりますけれども、いかがでしょうか。</p>
守泉委員	<p>「安全性の確保」(3) 防災への配慮・緊急時対策のところですが、合計が9点で標準点が8点なのですが、○判定になっています。これは問題ないでしょうか？</p>
小野塚 課長代理	<p>「安全性の確保」(3) 防災への配慮・緊急時対策のところですが、調査項目の「災害発生時の連絡体制」のところで、安否確認システムについて評価していますが、それ以外の項目については「水準どおり」としています。</p> <p>平均すると、○判定ということになります。</p>
守泉委員	<p>なるほど。分かりました。</p>
守泉委員	<p>ちなみに、今温暖化の状況もありますが、気温が上昇してきているので、植物もどんどん伸びてきています。仕様回数部分がどうなのかということもあります。</p>
織田課長	<p>都の仕様回数等について、公園協会とも相談し、委員のご指摘については、我々のほうで確認してみます。</p>
小室委員長	<p>若洲海浜公園ヨット訓練所については、来年発注するので、仕様のあり方についても検討します。確かに、昨年も一昨年も5回やっでいるってというのは、守泉委員のおっしゃる通り、温暖化の影響で、芝がよく伸びるということがあるのかもしれない。</p>
織田課長	<p>ご意見を踏まえ、二次評価については「A」ということになります。よろしいでしょうか。</p>
全員	<p>はい。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございました。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【武蔵野の森総合スポーツプラザ】 15:08～

指定管理者：東京スタジアムグループ

発言者	内容
小室委員長	<p>ご準備は大丈夫でしょうか。それでは、武蔵野の森総合スポーツプラザ、東京スタジアムグループのプレゼンテーションです。よろしくお願いいたします。</p>
武蔵野の森総合スポーツプラザ職員	<p>武蔵野の森総合スポーツプラザの管理運営をやらせて頂いております、東京スタジアムグループでございます。本日のプレゼンテーションは様式にしたがってやらせて頂きます。</p> <p>私共の施設の運営にあたっては、誰にでも利用しやすい施設であること、また、味の素スタジアムとの一体運営によって、効率的・効果的に事業を実施していくこと、また味の素スタジアムの運営を通じて、地域とのネットワークを積極的に活用していくことなどに心掛けて運営をやってまいりました。</p> <p>それでは、資料の内容の説明に移らせていただきます。</p> <p>「施設の提供」についてですが、指定管理者の指定を受けた8月から3か月間で準備を行い、11月に開業を迎えました。開業後、自ら積極的に、地元市主催のスポーツ大会やコンサート等の誘致を行ってまいりました。その結果、新たにスポーツ関係4件、コンサート2件を獲得しました。3月末までに14件の大きなイベントを開催致しましたが、大きなトラブルもなくご利用いただいております。</p> <p>「環境配慮への取組」ですが、私共の施設では、太陽光や太陽熱等の再生可能エネルギーを活用した設備を導入しています。このことについては、館内のデジタルサイネージにより、お客様へのPRを行っています。子供でもわかるようにふりがなを振ったり、英語・中国語・韓国語などの表記も行っていきます。</p> <p>「防災への配慮・緊急時対策」についてですが、先日の視察の際、避難場所を隣の西競技場に設定しているというご説明を致しましたが、これは、味の素スタジアムと一体的な防災体制を構築していることによるものです。なお、隣接スタジアムとは、合同で防災訓練も実施しています。館単独でも消火訓練、避難誘導訓練を実施している他、館内サイン表示の充実や非常時連絡体制の整備などが評価され、消防署から「優良防火対象物」の認定を受けています。</p> <p>また、施設で大規模なイベントが実施される場合は、地元の警察署や消防署の方に、施設に詰めて頂くなどして、日頃から緊密な連絡体制を構築しています。</p>

発言者	内容
武蔵野の森 総合スポーツ ツプラザ 職員	<p>続きまして、「事業効果」についてご説明致します。</p> <p>まず、「利用状況」についてですが、開業から3月末までに施設全体で22万人を超えるお客様にご来場いただきました。施設の使用率ですが、メインアリーナで51.7%、サブアリーナで64.7%、そしてプールの団体利用で79.1%となっています。ジムやプールについては個人利用もあり、開業から徐々に増加し、1日当たりの利用者数は、開業当初100名程度であったものが、3月には400名弱まで増加しています。なお、現在では600~700名程度の利用者数となっており、認知度も上がってきていると思います。</p> <p>続きまして「スポーツ振興事業等の実施状況」ですが、シニアや親子向けの卓球教室、大人向けのフットサル教室など9事業を実施し、延べ337名に参加いただきました。地域貢献事業については、7事業を実施しました。日本財団パラリンピックサポートセンターのご協力を頂き、障害をお持ちの方への対応についての講座を開催しました。多摩地域の自治体職員の方々にもご参加いただきました。</p> <p>続きまして、「サービス向上に向けた取組」についてです。どなたにでもご利用頂ける施設を目指し、館内2か所の案内所に筆談器を設置しているほか、自動販売機については、お客様の利用頻度の高い場所に設置されている自動販売機5台にユニバーサルデザインの機器を導入しています。また、一部の機器の売上額の8%を調布市社会福祉協議会に寄付を行っています。</p> <p>また、駐車場利用者へのサービス向上として、施設利用者等への割引サービスを実施しています。また、大規模イベントの際には、主催者側で駐車場を貸切とすることもありますが、他の利用者への影響がないようにするため、主催者側と協議し、貸切エリアを調整するなどの対応を行ったり、味の素スタジアム駐車場を一般の利用者にご案内しています。</p> <p>続きまして、「利用者ニーズの把握」についてです。館内の受付にご意見箱を設置して、利用者の声を頂くようにしています。今年の3月には、サブアリーナの利用者を対象として、利用者アンケートを実施致しました。アンケートの中で、例えば、休憩時の椅子を設置して欲しい、更衣室に時計や体重計を設置して欲しいといった備品で対応できる要望については、積極的に行っています。また、スタッフの対応についての要望については、コンソーシアム内の定例会や職員間のミーティングで共有しています。</p>

発言者	内容
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	<p>最後に「利用促進への取組み」についてです。</p> <p>新規の施設ということもあり、PRツールを整えるところからスタートしました。施設のホームページやリーフレットもわかりやすいものを作成することに心掛けました。特に、ホームページについては味の素スタジアムのホームページと連動させて、アクセス向上を図りました。また、地元市とも積極的に連携し、市報に施設の紹介やイベントについて掲載して頂いています。また、地元市をはじめとする見学を積極的に受け入れ、施設利用につなげています。さらに、メディアからの取材にも積極的に対応し、広く都民の方に施設を知っていただけるようTV、新聞、雑誌への露出拡大を図っているところです。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございました。それでは先生方お願いいたします。</p>
守泉委員	<p>利用者のアンケートの結果を見ると、個人の利用では、他の施設と比べると、「普通」という部分の表示が案外多くなっています。例えば、「職員の対応」というところでは「普通」が28%となっています。このあたりのところはどのように認識されていますか？</p> <p>スポーツクラブでは、新しい施設などでは、パフォーマンスとして、職員がにこやかに笑って元気よくやって盛り上げているところがあります。この前、視察でお伺いした際には、職員の皆さまが割とおとなしい印象を受けました。</p> <p>個人的には、その辺が影響していると感じていますが、そのあたりはいかがでしょうか？</p>
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	<p>利用者のアンケート調査の結果では、「普通」とお答えいただいた方は、全体116名のうちの16名いらっしゃいました。この方々が、設備や備品についてどのようにお感じになったか見てみますと、「十分・もしくは支障ない」とお答えいただいた方が11名となっておりますので、設備や備品についての問題ではなかったと思います。そして、清掃についても14名の方が「良い」とお答えいただいたので、その問題でもなかったです。続いて、「スタッフの対応」については、8名の方は「良い・大変良い」と回答頂きましたが、半分の方はそうではありませんでした。</p> <p>先生もお感じになった通り、スタッフは若干まだ、積極的ではない部分や、にこやかな対応が足りなかった部分もあると思いますので、そのあたりは真摯に受け止めて改善を図っていきたいと考えております。</p>

発言者	内容
武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員	また、「普通」とお答えいただいた方の中で、料金面で「普通」もしくは「大変不満」とお答えいただいた方が、14名いらっしゃいました。この方々は、料金に見合うだけの満足が得られなかったということなのですが、清掃面でも、設備や備品の面でもなく、スタッフの対応の面では課題であったと感じております。また、自由意見で、地元市民の割引をして欲しい意見が6件ありました。こちらについては、全都的な施設でもありますので、なかなか難しいと捉えております。引き続き、多くの方に満足していただき、施設をご利用いただけるよう、管理運営に努めてまいりたいと思います。
小海委員	利用者の人数は、改修当時、11月で119人、3月で395人、最近では600～700人になったというお話がありましたが、対応するスタッフの人数は増やされているのですか？
武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員	当初の目標で、1日あたり750人を目指すということがございましたので、現状、十分対応できております。
小海委員	750人という目標は、ほぼ達成されているようですが、次は1,000人目標というようなことは出てきますか？
武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員	施設の利用状況をみながらと思っております。できるだけ長く地域の皆さまに愛される施設になればいいなと考えております。
小海委員	ありがとうございました。
小室委員長	広報のことについてですが、東京スタジアムで、Twitterで情報発信されていますが、Twitterで公式に情報発信する際の仕組みについて教えて頂きたいのですが。情報をあげる際に、内部で簡易的に決裁をとるなどといったことをやっておられるとか、そのあたりを詳しく教えてください。
武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員	私共では、Facebookを活用しております。決裁の仕組みについてですが、担当者で原稿を作成しまして、係長で内容をチェックし、最終的には館長が決裁をして発信をしております。
小室委員長	外国語対応に力を入れていらっしゃる印象を受けておりますが、この辺りは、2019年ラグビーワールドカップや東京2020オリンピック大会を意識されたの取組みでしょうか？

発言者	内容
武蔵野の森 総合スポーツ ツプラザ 職員	やはり、大きな2つの大会を迎えるということで、日本人だけでなく、海外からも大勢のお客様がいらっしゃるかと考えております。少なくとも、英語版だけは充実させようということで、リーフレットも英語版を作成しております。
小室委員長	プール・ジム・スタジオのフリーパス会員の設定をされているということですが、これはユニークな取組みだと思います。これは、成果を上げている状況なのではないでしょうか？
武蔵野の森 総合スポーツ ツプラザ 職員	プール・ジムだけでなく、スタジオも自由に利用できるというところに魅力を感じて頂いております。午前中を中心に年配の方に毎日のように利用頂いております。働いておられる方についても、週2回以上来れば、元が取れるという価格に抑えているので、仕事終わりの時間や、土日にご利用いただいている状況です。
守泉委員	要望なのですが、視察の際の利用者層をみると、若いお母さん方などは、Facebook よりもTwitterで連絡を取っていることが多いと思います。例えば、カフェで変わった飲み物などを出すというような場合は、Twitterで情報発信すれば、経済効果は大きいと思います。Twitterの場合は、自動的に、月次で利用した人や拡散の状況が把握できます。どれだけの情報発信で、どれだけの効果があったかが見れるので、新しい施設であるうちにいろいろやってみると良いと思います。
武蔵野の森 総合スポーツ ツプラザ 職員	ありがとうございます。前向きに検討していきたいと思います。
丸山委員	この前、施設を拝見させていただきましたが、素晴らしい施設でした。地元と言いますと、調布市、府中市、三鷹市あたりになりますが、多摩地区では南多摩とか、西多摩とかの方でも、あの施設を見たら、行ってみたいと思われるのではないのでしょうか。 これらの地域に対するPRはどのようにされていますか？
武蔵野の森 総合スポーツ ツプラザ 職員	京王線の駅には、たくさん告知はしております。ただ、多摩地区の中央線エリアについてはできていないかもしれません。その辺は今後、検討していきたいと思います。

発言者	内容
丸山委員	そうですか。よろしくお願ひします。きっと皆さん喜ぶと思ひますよ。
小室委員長	よろしいでしょうか。では以上でプレゼンテーションを終了いたします。

二次評価の審議【武蔵野の森総合スポーツプラザ】 15:28～

発言者	内容
織田課長	<p>二次評価でございます。稼働してまだ、1年経っていない施設でございますが、PRに力を入れて、利用促進に努めていることは、評価頂いているところでございます。全般的に、適正な管理を行っているということもご指摘を頂いております。</p> <p>利用者アンケートの結果については、まだまだ改善をしていく余地があるということもご指摘を頂いておりますが、今後の更なる施設の有効活用ということも踏まえて、事業効果を期待するということでございます。</p> <p>基本的には「A」評価を各委員から頂いております。</p> <p>ご意見ございましたら、お願い致します。</p>
守泉委員	<p>法令等の遵守 (3) 環境配慮への取組の項目4「環境保全計画等における目標達成の取組み」のところを見ると、ここが評価されていません。この施設はいろいろ新しい機能があり、開業して半年の中で、いろいろ使いこなし、理解することも大変なことであると思います。そのような状況の中で、計画値よりも1割減となっていることを考えると、環境配慮への取組については評価できるのではないかと思います。</p>
小野塚 課長代理	<p>法令等の遵守 (3) 環境配慮への取組の項目1の「省エネルギー環境配慮への取組み」のところの評価している形となっています。</p>
守泉委員	<p>法令等の遵守 (3) 環境配慮への取組の項目4「環境保全計画等における目標達成の取組み」のところの評価することはできないのでしょうか？</p>
織田課長	<p>ここで評価されるのは、再生利用可能エネルギーの電力事業者との契約などの取組みがあれば評価できると考えております。</p>
小室委員長	<p>守泉委員がおっしゃったように、計画値よりも1割減となっていることは、十分評価できると思います。</p>
織田課長	<p>それでは、この項目について、同列の取組みで評価に反映することとしたいと思います。</p>

発言者	内容
守泉委員	(3) 防災への配慮・緊急時対策の項目3、災害対応策の研修・ミーティング等の実施のところも評価がされていません。この施設の場合、隣接の味の素スタジアムと合同で実施しており、打ち合わせ等は十分に実施していると思われ ますが、この部分が評価されていなかったのは、どのような理由でしょうか。
小野塚 課長代理	まず、調査の段階では、事業者が自己評価を実施するのですが、その部分が 空欄となっていました。事業者には、別の項目で評価してもらっています。
小海委員	まだ、はじめたばかりで4か月しか経っていないので、書けなかったのでは。
守泉委員	ただ、少なくとも、法令等の遵守(3)環境配慮への取組の項目4「環境保全 計画等における目標達成の取組み」については、「水準を上回る」という評価が 適切かと考えます。
織田課長	皆さまご賛同頂ければ、そのように反映したいと思います。
織田課長	各委員のご意見を踏まえまして、二次評価については「A」評価ということで ご確認願います。

全体整理 15:40～

発言者	内容
小室委員長	<p>では以上で、本日予定しておりました審議は終了致しました。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、ご多忙中のところ一日がかりで会議にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>なお、本日の会議資料および議事録につきましては、ホームページで公開することになっております。</p> <p>では以上をもちまして終わりとなります。本日はご意見を頂きましてありがとうございました。</p> <p>今後、指定管理者の指導・監督に活かしてまいりたいと思います。</p> <p>以上をもちまして、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会を閉会させていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>